

(様式第 10)

30 事務第 52 号
平成 30 年 10 月 5 日

厚生労働大臣 根本 匠 殿

開設者名 公立大学法人名古屋市立大学
理事長 郡 健二郎 (印)

名古屋市立大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 30 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒467-8602 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 番地
氏 名	公立大学法人 名古屋市立大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

名古屋市立大学病院

3 所在の場所

〒467-8602 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 番地 電話(052)851-5511

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜 <input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
1呼吸器内科	<input checked="" type="checkbox"/>	
2消化器内科	<input checked="" type="checkbox"/>	
3循環器内科	<input checked="" type="checkbox"/>	
4腎臓内科	<input checked="" type="checkbox"/>	
5神経内科	<input checked="" type="checkbox"/>	
6血液内科	<input checked="" type="checkbox"/>	
7内分泌内科	<input checked="" type="checkbox"/>	
8代謝内科	<input checked="" type="checkbox"/>	
9感染症内科	<input checked="" type="checkbox"/>	
10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	<input checked="" type="checkbox"/>	
11リウマチ科	<input checked="" type="checkbox"/>	
診療実績		
・呼吸器内科及びアレルギー疾患内科は、呼吸器・アレルギー疾患内科で主に診療している。 ・血液内科は、血液・腫瘍内科、内分泌内科及び代謝内科は、内分泌・糖尿病内科で主に診療している。		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載す

ること。

(2) 外科

外科	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
外科と組み合わせた診療科名		
<input checked="" type="checkbox"/> 1呼吸器外科	<input checked="" type="checkbox"/> 2消化器外科	<input checked="" type="checkbox"/> 3乳腺外科
<input type="checkbox"/> 5血管外科	<input checked="" type="checkbox"/> 6心臓血管外科	<input type="checkbox"/> 7内分泌外科
<input type="checkbox"/> 4心臓外科	<input checked="" type="checkbox"/> 8小児外科	
診療実績		
・ 内分泌外科については、耳鼻咽喉科、泌尿器科で主に診療している。		

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

<input checked="" type="checkbox"/> 1精神科	<input checked="" type="checkbox"/> 2小児科	<input checked="" type="checkbox"/> 3整形外科	<input checked="" type="checkbox"/> 4脳神経外科	<input checked="" type="checkbox"/> 5皮膚科	<input checked="" type="checkbox"/> 6泌尿器科	<input checked="" type="checkbox"/> 7産婦人科
<input type="checkbox"/> 8産科	<input type="checkbox"/> 9婦人科	<input type="checkbox"/> 10眼科	<input type="checkbox"/> 11耳鼻咽喉科	<input type="checkbox"/> 12放射線科	<input type="checkbox"/> 13放射線診断科	
<input type="checkbox"/> 14放射線治療科	<input type="checkbox"/> 15麻酔科	<input type="checkbox"/> 16救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
歯科と組み合わせた診療科名		
<input checked="" type="checkbox"/> 1小児歯科	<input checked="" type="checkbox"/> 2矯正歯科	<input checked="" type="checkbox"/> 3歯科口腔外科
歯科の診療体制		

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1. 肝臓内科	2. 膵臓内科	3. 呼吸器・アレルギー疾患内科	4. 内分泌・糖尿病内科
5. 血液・腫瘍内科	6. 形成外科	7. 小児泌尿器科	8. リハビリテーション科
9. 病理診断科	10. 臨床検査科		

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
28床	床	床	床	772床	800床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	284人	191.4人	475.4人	看 護 補 助 者	105人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	6人	13.8人	19.8人	理 学 療 法 士	14人	臨床検査技師	69人
薬 剤 師	52人	4.8人	56.8人	作 業 療 法 士	4人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	5人	そ の 他	0人
助 産 師	38人	0人	38人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	845人	34.4人	879.4人	臨 床 工 学 士	17人	医療社会事業従事者	8人
准 看 護 師	0人	0.8人	0.8人	栄 養 士	0人	その他の技術員	26人
歯 科 衛 生 士	1人	1.9人	2.9人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	165人
管 理 栄 養 士	9人	1.9人	10.9人	診 療 放 射 線 技 師	44人	そ の 他 の 職 員	3人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含まないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	62 人	眼 科 専 門 医	13 人
外 科 専 門 医	50 人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	15 人
精 神 科 専 門 医	17 人	放 射 線 科 専 門 医	14 人
小 児 科 専 門 医	16 人	脳 神 経 外 科 専 門 医	11 人
皮 膚 科 専 門 医	9 人	整 形 外 科 専 門 医	23 人
泌 尿 器 科 専 門 医	16 人	麻 酔 科 専 門 医	24 人
産 婦 人 科 専 門 医	14 人	救 急 科 専 門 医	7 人
		合 計	291 人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (小 椋 祐 一 郎) 任命年月日 平成 29 年 4 月 1 日

平成 29 年 4 月より医療安全管理委員会 委員

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	679.2 人	6.1 人	685.2 人
1日当たり平均外来患者数	1675.0 人	93.6 人	1768.7 人
1日当たり平均調剤数			1,414 剤
必要医師数			168.6 人
必要歯科医師数			6 人
必要薬剤師数			23 人
必要(准)看護師数			402 人

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	367.85m ²	S造 一部SRC/RC造	病床数	14床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 245.97m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	15床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 62.81m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	520.90m ²	S造 一部SRC/RC造	(主な設備) 検体検査システム			
細菌検査室	123.15m ²		(主な設備) 微生物検査システム			
病理検査室	221.79m ²		(主な設備) 病理標本染色封入システム			
病理解剖室	81.18m ²	S・SRC造	(主な設備) 解剖台、臓器撮影台、滅菌装置			
研究室	193.13m ²	S造 一部SRC/RC造	(主な設備) クリーンベンチ、オートクレーブ滅菌装置			
講義室	401.90m ²		室数	1室	収容定員	320人
図書室	96.98m ²		室数	2室	蔵書数	5,400冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

	紹介率	85.9 %	逆紹介率	75.2 %
算出根拠	A：紹介患者の数			16,608 人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数			17,761 人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数			3,665 人
	D：初診の患者の数			23,607 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
中村 勝己	後藤・太田・立岡法律事務所 所属弁護士	○	法律に関する識見を有する者	有・無	1
宮本 忠壽	知多厚生病院 名誉院長		医療安全に関する業務に従事した経験を持つ医師	有・無	1
小島 一彦	元中日新聞編集委員		医療を受ける者の立場から意見を述べることができる者	有・無	2
岩崎 良平	日本ガイシ株式会社取締役 専務執行役員		医療を受ける者の立場から意見を述べることができる者	有・無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無		有・無
委員の選定理由の公表の有無		有・無
公表の方法 病院ホームページにて公表 https://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/section/central/anzen-kanri/externalauditor/		

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	十二指腸内視鏡的粘膜下層剥離術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 表在性十二指腸腫瘍は稀であることに加え、十二指腸壁は大変薄く、蠕動が強く内視鏡の操作性が悪いことから、他の消化管とは全く異なり内視鏡的粘膜下層剥離術の難易度は極めて高く、日本でも極限られ高い施設のみで施行されている。			
医療技術名	化学放射線療法後再発食道癌に対する光線力学療法	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要: 片岡らは厚生省班研究の班員となって行った医師主導治験の成果で2015年10月に保険適用となった治療技術。			
医療技術名	超音波内視鏡下瘻孔形成術 K682-4	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 超音波内視鏡ガイド下に、経消化管的に胆道にアプローチし、ドレナージを行う手技である。本手技は、日本消化器内視鏡学会、胆道学会、膵臓学会より施行医および介助医は、手技に関する十分な知識を有し、内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)関連手技および超音波内視鏡ガイド下穿刺術(EUS-FNA)に熟練していることが必要であるとされている。また、初回実施前に経験の豊富な施設で見学、研修を行うことが望ましいとされています。当院では胆膵の専門医により施行可能です。			
医療技術名	Spyglass下胆道疾患/膵疾患の診断と治療	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要 内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)関連手技下に、胆道や膵管に極細径のSpyglassを挿入し、診断のみならず、結石治療やドレナージ治療が可能な手技です。この手技は施行医および介助医は、手技に関する十分な知識を有し、内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)関連手技および碎石・採石・ドレナージ手技に熟練していることが必要であるとされています。当院では胆膵の専門医により施行可能です。			
医療技術名	超音波気管支鏡下リンパ節生検(EBUS-TBNA)	取扱患者数	38人
当該医療技術の概要 従来非侵襲的なアプローチが困難であった縦隔リンパ節病変に対し、超音波ガイド下に生検を行うことで高い診断率と安全性を実現した。			
医療技術名	蛍光気管支鏡による胸部疾患の診断	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 がん病巣における自家蛍光の減弱性質を利用し、特定波長下に気管支鏡を行うことで通常光では認識困難な気道の上皮内癌病変を高感度に検出する。			
医療技術名	局所麻酔下胸腔鏡による胸膜疾患の診断	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 びまん性胸膜疾患による胸水貯留症例に対し、手術に比べ大幅に侵襲を低減して確定診断が可能。			
医療技術名	ガイドシース併用気管支内腔超音波断層法(EBUS-GS法)	取扱患者数	42人
当該医療技術の概要 従来気管支鏡検査での診断率が不良であった末梢小型病変に対し、細径超音波プローブにガイドシースをかぶせて病変まで誘導し、病変到達を確認する。			
医療技術名	仮想気管支鏡ソフトウェア(ビーエフ ナビ) Bf-NAVI	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 CT画像から仮想気管支鏡画像を作成する。3Dが総による対象部位の表示が可能であり、気管支鏡検査室のベッドサイドでアプローチ経路の確認が可能。			
医療技術名	気道過敏性試験(アストグラフ法)	取扱患者数	85人
当該医療技術の概要 メサコリン吸入により気道の過敏性および反応性を診る。喘息の診断や治療効果の目安となる。			
医療技術名	インパルスオキシレーション法(IOUS)	取扱患者数	211人
当該医療技術の概要 安静呼吸時に、複数の周波数波を気道内に送り、各周波数ごとの呼吸抵抗などを測定する検査。周波数により中枢気道成分と末梢気道成分を分けて測定が可能。			

医療技術名	誘発喀痰	取扱患者数	98人
当該医療技術の概要 高張食塩水(3%)吸入により喀痰を採取し、その細胞所見やメディエーター濃度等を検討する。炎症性気道疾患の病態解析に有効			
医療技術名	呼気一酸化窒素濃度	取扱患者数	242人
当該医療技術の概要 呼気中の一酸化窒素濃度を測定することにより、喘息など好酸球性気道炎症の存在が推定可能。病態解明や治療効果判定への応用が期待される。			
医療技術名	気管支サーモプラスティ	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 重症喘息患者を対象とした新治療。気管支鏡下に中葉を除く全気管支に専用のプローブを用いて熱を加えることで気管支平滑筋の容量減少から発作回数減少などの効果が期待される。当科では全国的にも早期導入し積極的に治療を行っている。			
医療技術名	造血幹細胞移植療法	取扱患者数	24人
当該医療技術の概要 自家および同種造血幹細胞移植療法は、造血器腫瘍治療において極めて重要な手段である。高度の骨髄抑制および免疫抑制に伴う合併症管理が治療成績を左右し、多臓器にわたる専門的な管理が必要であるため、チーム医療を学ぶ良い機会となる。			
医療技術名	腹腔鏡下大腸全摘術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 腹腔鏡を用いて大腸を全摘出し、肛門と回腸を吻合する。主に潰瘍性大腸炎・家族性大腸ポリポーシスに対して施行している。			
医療技術名	骨盤内臓全摘術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 多臓器に浸潤した直腸癌・S状結腸癌に対して骨盤内の臓器を合併切除する。			
医療技術名	腹腔鏡下食道アカラシア手術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 アカラシア手術を腹腔鏡下にて安全に施行している。			
医療技術名	胸腔鏡下食道亜全摘出術	取扱患者数	26人
当該医療技術の概要 切除可能食道癌に対して胸腔鏡下に施行している。			
医療技術名	胸腔鏡下食道腫瘍摘出術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 良性腫瘍またはGISTなどに対して、胸腔鏡下腫瘍摘出術を施行している。			
医療技術名	腹腔鏡下下部食道噴門側胃切除	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 切除可能食道胃接合部癌に対して腹腔鏡下に施行している。			
医療技術名	臍頭十二指腸切除術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 臍頭部癌または遠位部胆管癌、十二指腸乳頭部癌などに対して、臍頭部、十二指腸、胆のう、胆管を合併切除し、空腸を用いて、再建する。			
医療技術名	腹腔鏡下臍体尾部切除術	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 良性または低悪性度臍体尾部腫瘍に対して、腹腔鏡下に臍体尾部切除を行っている。			

医療技術名	膵全摘出術	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 膵残存しきれない高度な膵管内進展をきたす症例や、広範内膵外進展をきたす膵腫瘍症例に対し、膵臓全摘に加え解剖学的見識から胆管十二指腸切除を伴う。(術式は膵頭十二指腸切除術に準ずる)			
医療技術名	亜全胃温存膵頭十二指腸切除術	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 胃のほとんど全てを温存させた膵頭十二指腸切除術。			
医療技術名	Frey手術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 内科的治療の困難な慢性膵炎に対し、膵管内圧の上昇を防ぐ目的で、膵頭部のくり抜きと、膵管を長軸方向に開放した上で、膵管と空腸を吻合する手術。			
医療技術名	腹腔鏡下肝部分切除術	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 肝外側区域切除または肝部分切除を腹腔鏡下に行っている。			
医療技術名	腹腔鏡下肝亜区域切除術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 肝腫瘍を亜区域範囲で腹腔鏡下で切除する。			
医療技術名	腹腔鏡下肝区域切除術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 肝腫瘍を区域範囲以上を腹腔鏡で切除する。			
医療技術名	進行肺癌に対する胸腔鏡下手術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要: 気管支形成・肺動脈形成を伴う進行肺癌に対し、低侵襲胸腔鏡下手術を施行。			
医療技術名	剣状突起下アプローチによる前縦隔腫瘍摘出術	取扱患者数	21人
当該医療技術の概要: 前縦隔腫瘍に対し、剣状突起下アプローチ胸腔鏡下手術による摘出術を施行。胸骨を切らない低侵襲手術施行。			
医療技術名	悪性胸膜中皮腫に対しする胸膜肺全摘術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要: 悪性胸膜中皮腫に対し、胸膜肺全摘術施行。			
医療技術名	中枢気管支発生の肺癌に対する気管支鏡下光線力学的療法(PDT)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要: 中枢気管支発生の肺癌に対し、気管支鏡下に光線力学療法(PDT)を施行。			
医療技術名	気管支腫瘍・狭窄に対する気管支鏡下アルゴンビームレーザー治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要: 気管支腫瘍・術後気管支狭窄に対し、気管支鏡下にアルゴンビームレーザー治療を行い、気管支を開存。			
医療技術名	脊椎側弯症手術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 成長期に脊椎が彎曲して変形する側弯症に対して、曲がりを矯正して固定する手術			

医療技術名	脊椎内視鏡手術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
内視鏡を用いて、小さい皮膚切開で骨や靭帯を削り、または、椎間板ヘルニアを切除して神経の圧迫を取り除く手術			
医療技術名	脊椎側方椎体間固定	取扱患者数	26人
当該医療技術の概要			
特殊な器械を用いて展開し、脊椎の側方から侵入し操作する小侵襲による脊椎矯正固定術			
医療技術名	精巣内精子回収法(TESE)により得られた精子を用いた顕微授精	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
精巣内から直接得られた精子を用いた顕微授精をおこなうことにより、この男性不妊症の患者が、生児を得ることが出来る。			
医療技術名	筋硬直性ジストロフィーに対する着床前診断	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
筋硬直性ジストロフィーは遺伝疾患であり、着床前診断することが出来る。			
医療技術名	染色体相互転座に起因する習慣流産患者に対する着床前診断	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
習慣流産の原因の1つである染色体相互転座は着床前診断することが出来る。			
医療技術名	習慣流産患者の妊娠管理	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
抗リン脂質抗体症候群は不育症の原因の1つであり、抗凝固療法(ヘパリン・アスピリン)により治療する。			
医療技術名	習慣流産患者の妊娠管理	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要			
習慣流産患者の診断、治療をおこない妊娠継続分娩管理をおこなう。			
医療技術名	重症妊娠高血圧症候群患者の管理	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要			
重症妊娠高血圧症候群の患者を、高度な集約的治療により、妊娠・分娩管理をおこなう。			
医療技術名	前置胎盤・胎盤早期剥離などハイリスク妊婦に対する帝王切開術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
重圧な合併症を引き起こす可能性のある疾患である、高度な集約的治療により、妊娠・分娩管理をする。			
医療技術名	妊娠中期破水妊娠の管理	取扱患者数	70人
当該医療技術の概要			
妊娠中期の前期破水は母体のみでなく胎児にも大きな影響を与える。集約的な治療によって妊娠分娩管理をする。			
医療技術名	胎児異常の出生前診断	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要			
胎児異常の出生前診断は困難で、専門医による診断が必要である。また診断後のカウンセリングにも専門知識が必要である。			
医療技術名	異常胎児妊娠妊婦の管理	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要			
胎児異常妊娠は合併症のみで無く、胎児の状態の把握も重要である。			

医療技術名	異常胎児に対する胎内治療	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 異常胎児を母体内で治療することにより、胎内成長過程を改善することが出来る。			
医療技術名	子宮頸がんに対する広汎子宮全摘術	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 広汎子宮全摘術は専門性の高い婦人科医のみが実施できる手術である。また術後合併症の頻度も高い。			
医療技術名	子宮癌に対する子宮温存療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 早期子宮癌は細心の注意を払った治療をすることにより、子宮を温存することができる。このことにより治療後の妊娠を望む			
医療技術名	脈絡膜新生血管、黄斑浮腫に対する抗VEGF硝子体内注射	取扱患者数	1681人
当該医療技術の概要 加齢黄斑変性、近視性脈絡膜新生血管、および、糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症による黄斑浮腫に対して抗VEGF薬を硝子体内に注射して、新生血管を縮小あるいは浮腫の改善を測る。			
医療技術名	加齢黄斑変性に対する光線力学療法	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要 光感受性物質を静脈内投与したのちに、レーザー光線をあて、加齢黄斑変性の脈絡膜新生血管を縮小させる。			
医療技術名	増殖硝子体網膜症に対する増殖硝子体網膜症手術	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要 難治性網膜剥離である増殖硝子体網膜症に対し、輪状締結を行い、硝子体および増殖膜を切除、ガスあるいはシリコンオイルで眼内を置換する。			
医療技術名	インプラントを用いた緑内障手術	取扱患者数	48人
当該医療技術の概要 他の治療法で眼圧コントロール不良の緑内障患者に対して、インプラントを用いた濾過手術を施行する			
医療技術名	糖尿病黄斑浮腫に対する選択的網膜光凝固	取扱患者数	45人
当該医療技術の概要 糖尿病黄斑浮腫にたいして、インドシアニングリーン蛍光眼底造影を施行し、原因となる毛細血管瘤を自動追尾装置をもったレーザーの機械で選択的に光凝固する			
医療技術名	糖尿病黄斑浮腫に対する域値下光凝固	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 糖尿病黄斑浮腫に対して、黄斑部域値下網膜光凝固を施行する			
医療技術名	人工内耳埋め込み術	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 高度難聴患者に対して人工内耳の埋め込み術を施行、その後ハビリテーションを行っている。			
医療技術名	ロボット支援腹腔鏡下逆流防止術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 先進医療として厚生労働省が認めた高度な手術である腹腔鏡手術をロボットで行った、日本で唯一行える手術である。細かな縫合技術が必要であるが、ロボットの特徴をまさいかせる手術である。			
医療技術名	腹腔鏡下逆流防止術	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 先進医療として厚生労働省が認めた高度な手術である			

医療技術名	腹腔鏡内精巣に対する腹腔鏡下精巣固定術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 小児に対するより低侵襲な手術として腹腔鏡を全国に先駆けて取り入れ行っている。腹腔内からの精巣の観察ができ、開腹による手術の時の理解にもつながっている。			
医療技術名	尿道下裂形成術	取扱患者数	26人
当該医療技術の概要 全国一の手術経験を持っている。拡大鏡を用いての繊細かつ高度な技術を要する。繊細な手術になるため、形成術全般に対する知識が深まる。			
医療技術名	顕微鏡下精子採取術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 男性不妊症に対する補助生殖医療技術。産婦人科と協調しながら顕微鏡下に精子採取術を行っている。東海地区の大学病院では唯一当院でしか経験できないため、特殊な手術の経験となっている。			
医療技術名	MRI撮影及び超音波検査融合画像に基づく前立腺針生検法	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要 先進医療として厚生労働省が認めた高度な検査である。			
医療技術名	不安障害に対する認知行動療法	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 パニック障害や社交不安障害患者に、まず呼吸コントロール法や注意訓練法、認知再構成法といった不安をコントロールする技法を習得してもらい、その後不安や恐怖の対象への段階的なエクスポージャー法を施行して、回避等の症状低減を図る。			
医療技術名	慢性めまいに対する新世代認知行動療法(アクセプタンス&コミットメント・セラピー)	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 慢性めまい(心因性めまい)の患者に対して、アクセプタンス、観察者としての自己、脱フュージョン、現在との接触、価値、コミットされた行為、というアクセプタンス&コミットメント・セラピーのコアプロセスを体験的に習得してもらい、心理的柔軟性を高めることで、QOLの向上を目指し、結果として慢性めまい症状の低減を図る。			
医療技術名	児童外来	取扱患者数	1440人
当該医療技術の概要 児童・思春期に特有な疾患について個人精神療法を中心を行う。			
医療技術名	サイコオンコロジー	取扱患者数	600人
当該医療技術の概要 がん患者とその家族に対して、支持的精神療法を基本としつつ、がんという疾患の特性を良く理解し、患者の苦痛を包括的に評価し、多職種と協働しながら精神心理的支援を提供する。			
医療技術名	難治性てんかんの診断と治療	取扱患者数	200人
当該医療技術の概要 難治性てんかんの診断として、入院・外来で終夜脳波などの発作時ビデオ脳波同時記録を行っている。治療としては入院・外来で抗てんかん薬による薬物療法および迷走神経刺激療法(VNS)を行っている			
医療技術名	電気けいれん療法	取扱患者数	26人
当該医療技術の概要 これまでに数種類の抗うつ薬を十分量、十分期間服用しても改善の得られない難治性うつ病や、副作用のために薬物治療を行えない治療抵抗性うつ病、高齢者のうつ病などに対しては、修正型電気けいれん療法(週2回ずつ約10回を1クールとして施行)を麻酔科の協力を得て行う。			
医療技術名	覚醒下開頭脳腫瘍摘出術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 開頭を行った後、患者を覚醒させ、脳表面の電気刺激を行いながら、患者の指示動作ができない部位を脳機能がある部位として確認しながら、脳腫瘍の摘出範囲を調べて脳機能を温存しながら、脳腫瘍を摘出する手術である。			
医療技術名	耳鼻科との合同手術 聴神経腫瘍摘出術、真珠腫摘出術	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要 耳鼻科と合同で脳神経モニタリングを行いながら、顔面神経、聴神経の機能温存しながら腫瘍摘出を行う手術である			

医療技術名	脳深部刺激装置埋め込み術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 脳深部刺激装置をMRI定位手術装置を用いて微小電極で脳深部の電気信号を確認しながら、正確な位置に埋め込む手術である			
医療技術名	硬膜動静脈瘻血管内塞栓術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 硬膜動静脈瘻を血管撮影検査でAV-shuntの部位を正しく診断し、血管内塞栓術により、AV-shunt部位を遮断する手術である			
医療技術名	神経内視鏡手術	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 神経内視鏡を用いて、頭蓋底の腫瘍、脳内血腫を摘出する手術である。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	9	56	ベーチェット病	92
2	筋萎縮性側索硬化症	16	57	特発性拡張型心筋症	49
3	脊髄性筋萎縮症	16	58	肥大型心筋症	37
4	原発性側索硬化症	16	59	拘束型心筋症	1
5	進行性核上性麻痺	11	60	再生不良性貧血	36
6	パーキンソン病	442	61	自己免疫性溶血性貧血	10
7	大脳皮質基底核変性症	13	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
8	ハンチントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	72
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	12	65	原発性免疫不全症候群	1
11	重症筋無力症	169	66	IgA腎症	84
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	22
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	63	68	黄色靱帯骨化症	86
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	15	69	後縦靱帯骨化症	86
15	封入体筋炎	58	70	広範脊柱管狭窄症	598
16	クドウ・深瀬症候群	5	71	特発性大腿骨頭壊死症	42
17	多系統萎縮症	6	72	下垂体性ADH分泌異常症	0
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	30	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	18	74	下垂体性PRL分泌亢進症	0
20	副腎白質ジストロフィー	7	75	クッシング病	9
21	ミトコンドリア病	7	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	37	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	0
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	321
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	426
25	進行性多巣性白質脳症	1	80	甲状腺ホルモン不応症	1
26	HTLV-1関連脊髄症	9	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27	特発性基底核石灰化症	13	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	36	83	アジソン病	3
29	ウルリッヒ病	44	84	サルコイドーシス	288
30	遠位型ミオパチー	44	85	特発性間質性肺炎	38
31	ペスレムミオパチー	44	86	肺動脈性肺高血圧症	102
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	102
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	20	88	慢性血栓性肺高血圧症	9
34	神経線維腫症	33	89	リンパ管筋腫症	12
35	天疱瘡	68	90	網膜色素変性症	37
36	表皮水疱症	6	91	バッド・キアリ症候群	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	29	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性肝硬変	80
39	中毒性表皮壊死症	1	94	原発性硬化性胆管炎	48
40	高安動脈炎	21	95	自己免疫性肝炎	76
41	巨細胞性動脈炎	8	96	クローン病	81
42	結節性多発動脈炎	29	97	潰瘍性大腸炎	276
43	顕微鏡的多発血管炎	29	98	好酸球性消化管疾患	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	103	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	2
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	26	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	2
46	悪性関節リウマチ	10	101	腸管神経節細胞減少症	2
47	パージャー病	9	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	6
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	142	103	CFC症候群	3
49	全身性エリテマトーデス	420	104	コステロ症候群	18
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	118	105	チャージ症候群	3
51	全身性強皮症	32	106	クリオピリン関連周期熱症候群	9
52	混合性結合組織病	56	107	全身型若年性特発性関節炎	5
53	シェーグレン症候群	238	108	TNF受容体関連周期性症候群	9
54	成人ステル病	19	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	4	110	ブラウ症候群	9

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	19	161	家族性良性慢性天疱瘡	15
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	2	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	6
113	筋ジストロフィー	44	163	特発性後天性全身性無汗症	2
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	20	164	眼皮皮膚白皮症	1
115	遺伝性周期性四肢麻痺	2	165	肥厚性皮膚骨膜炎	2
116	アトピー性脊髄炎	2	166	弾性線維性仮性黄色腫	15
117	脊髄空洞症	17	167	マルファン症候群	6
118	脊髄髄膜瘤	43	168	エーラス・ダンロス症候群	2
119	アイザックス症候群	20	169	メンケス病	10
120	遺伝性ジストニア	2	170	オクシピタル・ホーン症候群	10
121	神経フェリチン症	13	171	ウィルソン病	10
122	脳表ヘモジデリン沈着症	5	172	低ホスファターゼ症	14
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性 白質脳症	0	173	VATER症候群	6
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優 性脳動脈症	7	174	那須・ハコラ病	1
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性び まん性白質脳症	19	175	ウィーバー症候群	5
126	ペリー症候群	13	176	コフィン・ローリー症候群	14
127	前頭側頭葉変性症	4	177	有馬症候群	9
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	4	178	モワット・ウィルソン症候群	4
129	痙攣重症型(二相性)急性脳症	9	179	ウィリアムズ症候群	7
130	先天性無痛無汗症	1	180	ATR-X症候群	4
131	アレキサンダー病	9	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	4
133	メビウス症候群	4	183	ファイファー症候群	4
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	4
135	アイカルディ症候群	3	185	コフィン・シリス症候群	4
136	片側巨脳症	6	186	ロスムンド・トムソン症候群	15
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	4
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	4
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	4
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	14
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	32	191	ウェルナー症候群	2
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	192	コケイン症候群	18
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	18
144	レノックス・ガストー症候群	30	194	ソス症候群	5
145	ウエスト症候群	30	195	ヌーナン症候群	18
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	4
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	12
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	1	199	5p欠失症候群	2
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	4
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	12
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	2
153	難治頻回部分発作重症型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	2
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん 性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	15	207	総動脈幹遺残症	5
158	結節性硬化症	8	208	修正大血管転位症	13
159	色素性乾皮症	3	209	完全大血管転位症	33
160	先天性魚鱗癬	2	210	単心室症	32

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	7	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	7	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	47	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	87	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	87	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	63	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	9	265	脂肪萎縮症	1
218	アルポート症候群	3	266	家族性地中海熱	1
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	9
220	急速進行性糸球体腎炎	84	268	中條・西村症候群	9
221	抗糸球体基底膜腎炎	2	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	9
222	一次性ネフローゼ症候群	84	270	慢性再発性多発性骨髄炎	9
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	21
224	紫斑病性腎炎	32	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	6	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	16
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274	骨形成不全症	12
227	オスラー病	8	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	14	276	軟骨無形成症	10
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	1
230	肺胞低換気症候群	2	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	27	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	2
233	ウォルフラム症候群	3	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	6
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	7	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	15	283	後天性赤芽球癆	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	4	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	4
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	58	285	ファンconi貧血	4
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	14	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	13	287	エプスタイン症候群	654
240	フェニルケトン尿症	1	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	5
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	2
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	3
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	2
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	1	296	胆道閉鎖症	4
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	3
250	グルタル酸血症2型	7	298	遺伝性膀胱炎	123
251	尿素サイクル異常症	63	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	203
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	37
254	ポルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	49
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	1	303	アッシュャー症候群	3
256	筋型糖原病	7	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	7	305	遅発性内リンパ水腫	244
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	1	306	好酸球性副鼻腔炎	7

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	1	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	17	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β ーケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	7	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	3	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	5	326	大理石骨病	1
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	63	330	先天性気管狭窄症	3

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・入退院支援加算1、3
・歯科外来診療環境体制加算2	・精神疾患診療体制加算
・歯科診療特別対応連携加算	・精神科急性期医師配置加算
・特定機能病院入院基本料(一般7:1,精神10:1)	・救命救急入院料1
・超急性期脳卒中加算	・特定集中治療室管理料3
・診療録管理体制加算2	・総合周産期特定集中治療室管理料1・2
・医師事務作業補助体制加算1 ト	・新生児治療回復室入院医療管理料
・急性期看護補助体制加算3	・小児入院医療管理料2
・看護職員夜間配置加算1 ロ	・
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1・2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊婦管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・後発医薬品仕様体制加算1	・
・病棟薬剤業務実施加算1	・
・データ提出加算2	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の「注11」に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・ヘッドアップティルト試験
・がん性疼痛緩和指導管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・がん患者指導管理料イ・ロ・ハ	・脳波検査判断料1
・外来緩和ケア管理料	・神経学的検査
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・補聴器適合検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・ロービジョン検査判断料
・院内トリアージ実施料	・コンタクトレンズ検査料1
・外来放射線放射線照射診療料	・内服・点滴誘発試験
・ニコチン依存症管理料	・CT透視下気管支鏡検査加算
・がん治療連携計画策定料	・画像診断管理加算1
・肝炎インターフェロン治療計画料	・CT撮影及びMRI撮影
・薬剤管理指導料	・冠動脈CT撮影加算
・医療機器安全管理料1・2	・心臓MRI撮影加算
・在宅酸素療法指導管理料の「注2」に掲げる遠隔モニタリング加算	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の「注2」に掲げる遠隔モニタリング加算	・外来化学療法加算1
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・無菌製剤処理料
・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・遺伝学的検査	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・検体検査管理加算(Ⅰ)(Ⅳ)	・がん患者リハビリテーション料
・国際標準検査管理加算	・リンパ浮腫複合的治療料
・遺伝カウンセリング加算	・歯科口腔リハビリテーション料2
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・児童思春期精神科専門管理加算
・胎児心エコー法	・認知療法・認知行動療法1
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る)
施設基準の種類	施設基準の種類

・医療保護入院等診療料	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・エタノールの局所注入(甲状腺)(副甲状腺)	・経皮的中隔心筋焼灼術
・人工腎臓	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・導入器加算2及び腎代替療法実績加算	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・両親室ペースメーカー移植術及び両親室ペースメーカー交換術
・CAD/CAM冠	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術
・歯科技工加算1及び2	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・センチネルリンパ節加算	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・組織拡張器による再建手術[乳房(再建手術)の場合に限る]	・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・骨移植術(軟骨職術を含む)[同種骨移植(非生体)[同種骨移植(特殊なものに限る)]]	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・骨移植術(軟骨職術を含む)(自家培養軟骨移植術に限る)	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・後縦靭帯骨化症手術(前方侵入によるもの)	・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む)及び脳刺激装置交換術	・胆管悪性腫瘍手術[膵頭十二指腸及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る]
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・体外衝撃波胆石破碎術
・緑内障手術[緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの)]	・腹腔鏡下肝切除術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・体外衝撃波膀胱石破碎術
・網膜再建術	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・人工中耳植込術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術支援機器を用いるもの)
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	・膀胱水圧拡張術
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術支援機器を用いる場合)
・乳癌悪性腫瘍手術[乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの)]	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・人工尿道括約筋植込・置換術
・肺悪性腫瘍手術[壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る]	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膣腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)
	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
施設基準の種類	施設基準の種類

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定(平成30年度診療報酬改定)	・
・硬膜外自家血注入療法(平成28年度診療報酬改定)	・
・内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下腎部分切除術(平成28年度診療報酬改定)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週1回程度
剖 検 の 状 況	剖検症例数 17 例 / 剖検率 3.2 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
高齢者タウオパチー診断を目指した病態研究	赤津裕康	医学研究科	¥1,620,000	補 委 文部科学省
膵癌における新規分子標的療法の解明;オートタキシンは治療ターゲットになるか?	吉田道弘	肝・膵臓内科	¥2,730,000	補 委 文部科学省
膵癌腹膜播種に対する糖鎖連結光感受性物質を用いた新規光線力学療法の開発	加藤晃久	肝・膵臓内科	¥2,730,000	補 委 文部科学省
肝線維化からみた肝発癌メカニズムの解明と新規治療法の開発	野尻俊輔	肝・膵臓内科	¥1,500,000	補 委 文部科学省
稀少内分泌疾患から生活習慣病へのトランスレーショナルサイエンス	田中智洋	内分泌・糖尿病内科	¥5,000,000	補 委 日本学術振興会
時空間マルチオミクスデータに基づくシステム肥満症学の構築	田中智洋	内分泌・糖尿病内科	¥1,820,000	補 委 日本学術振興会
代謝と消化の内分泌性制御における内分泌型FGFの統合的役割	田中智洋	内分泌・糖尿病内科	¥1,430,000	補 委 日本学術振興会
慢性咳嗽の診断・治療アルゴリズムの確立と診断バイオマーカーの探索	新実彰男	呼吸器・アレルギー内科	¥4,680,000	補 委 文部科学省
肺MAC症の治療効果を予測するバイオマーカーの探究	伊藤 穰	呼吸器・アレルギー内科	¥4,680,000	補 委 文部科学省
多発性骨髄腫における分子標的薬の効果を予測する血液中バイオマーカーの同定	飯田真介	血液・腫瘍内科	¥1,340,000	補 委 独立行政法人 日本学術振興会
がん免疫療法における抗CCR4抗体によるTreg除去療法—抗体単独療法から複合免疫療法への医師主導治験—	飯田真介	血液・腫瘍内科	¥7,500,000	補 委 日本医療研究開発機構
アミロイドーシスに関する調査研究	飯田真介	血液・腫瘍内科	¥200,000	補 委 厚生労働省
高齢者多発性骨髄腫患者に対する至適な分子標的療法の確立と治療効果および有害事象を予測するバイオマーカーの探索的研究	飯田真介	血液・腫瘍内科	¥6,000,000	補 委 日本医療研究開発機構
多発性骨髄腫に対する至適分子標的療法の確立とバイオマーカーの探索研究(26-A-4)	飯田真介	血液・腫瘍内科	¥1,500,000	補 委 がん研究開発費
がん領域における臨床ゲノム情報データストレージの整備に関する研究	飯田真介	血液・腫瘍内科	¥8,008,000	補 委 日本医療研究開発機構
モガムリスマブを用いた成人T細胞白血病リンパ腫に対する革新的治療法の確立	石田高司	血液・腫瘍内科	¥3,900,000	補 委 独立行政法人 日本学術振興会

小計16件

リンパ系腫瘍・多発性骨髄腫に対する標準的治療確立のための多施設共同研究(26-A-4)	石田高司	血液・腫瘍内科	¥400,000	補 委	がん研究 開発費
成人T細胞性白血病/リンパ腫(ATLL)に対すNY-ESO-1+AS15ASCIのモガムリズマブ併用での安全性と有効性探索のための医師主導治験(第I/II相)	石田高司	血液・腫瘍内科	¥8,800,000	補 委	日本医療 研究開発 機構
NY-ESO-1抗原特異的TCR遺伝子導入Tリンパ球輸注による同種移植後再発難治性成人T細胞白血病リンパ腫を対象とした多施設共同臨床第(特)相医師主導治験	楠本 茂	血液・腫瘍内科	¥1,560,000	補 委	日本医療 研究開発 機構
モガムリズマブ治療後のB型肝炎ウイルス再活性化メカニズムの解明	楠本 茂	血液・腫瘍内科	¥1,560,000	補 委	独立行政 法人 日本 学術振興 会
B型肝炎ウイルス再活性化に関与するウイルス・宿主要因の解明に基づく予防対策法の確立を目指す研究	楠本 茂	血液・腫瘍内科	¥5,200,000	補 委	日本医療 研究開発 機構
Interim PETに基づく初発進行期ホジキンリンパ腫に対するABVD療法およびABVD/増量BEACOPP療法の非ランダム化検証的試験:ICOG1305試験	楠本 茂	血液・腫瘍内科	¥1,300,000	補 委	日本医療 研究開発 機構
プロテアソーム阻害剤獲得耐性機序の解明と耐性を克服する新規分子標的の探索研究	李 政樹	血液・腫瘍内科	¥1,430,000	補 委	独立行政 法人 日本 学術振興 会
高難度手術およびハイリスク症例の手術成績向上を目指したグレリン支持療法の開発	瀧口 修司	消化器・一般外科	¥1,200,000	補 委	文部科学 省
臨床応用を目指した、膵癌血管新生におけるIGF1シグナルの解明	松尾 洋一	消化器・一般外科	¥1,200,000	補 委	文部科学 省
ポリフェノールによるBc1-xLに対する作用機序の解明と新たながん治療法の開発	高橋 広城	消化器・一般外科	¥1,400,000	補 委	文部科学 省
癌関連線維芽細胞中のシグナル阻害による抗腫瘍効果	原 賢康	消化器・一般外科	¥1,300,000	補 委	文部科学 省
胃癌腹膜播種に対する5-アミノレブリン酸を用いた光線力学診断の有用性に関する研究(医師主導治験)	田中 達也	消化器・一般外科	¥303,750	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
臨床応用を目指した膵癌の局所進展・神経浸潤に与えるGirdinの作用機序の解明	佐藤 崇文	消化器・一般外科	¥2,000,000	補 委	文部科学 省
臨床応用を目指した膵癌におけるキサントフォームの抗腫瘍作用機序の解明	社本 智也	消化器・一般外科	¥1,000,000	補 委	文部科学 省
臨床応用を目的とした膵癌リンパ管新生メカニズムの解明	齊藤 健太	消化器・一般外科	¥1,500,000	補 委	文部科学 省

小計 15件

食道癌microRNAの同定と機能解析	佐本 洋介	消化器・一般外科	¥1,100,000	補委	文部科学省
胸部内視鏡手術における広範囲視認型トロッカーの開発	中西 良一	呼吸器外科	¥2,700,000	補委	文部科学省
胸腺癌における発癌原因候補遺伝子の機能解析及び個別化治療法の確立	奥田 勝裕	呼吸器外科	¥1,200,000	補委	文部科学省
難治性脊柱変形の病態解明と脊柱変形手術低侵襲化への集学的挑戦	水谷潤	整形外科	¥650,000	補委	日本学術振興会
脊柱退行変性により誘導される慢性炎症主体の新たな腰部脊柱管狭窄症動物モデルの確立	加藤賢治	整形外科	¥2,990,000	補委	日本学術振興会
脊椎アライメントの概念を導入した新たな腸腰筋の機能解剖	近藤章	整形外科	¥520,000	補委	日本学術振興会
シャルコー・マリー・トゥース病の診療エビデンスの創出と臨床試験の基盤を構築する研究	和田郁雄	リハビリテーション科	¥600,000	補委	日本医療開発研究開発機構
錯覚を利用した感覚運動統合リハビリテーションシステムの開発	和田郁雄	リハビリテーション科	¥5,070,000	補委	文部科学省
直流刺激と歩行運動のハイブリッド型リハによる下肢機能再建とその脳内機構の解明	植木美乃	リハビリテーション科	¥200,000	補委	文部科学省
TDP-43分子病変の時空間解析技術の創出と、そのFTLD早期診断への応用	植木美乃	リハビリテーション科	¥2,345,612	補委	文部科学省
モチベーションの脳機能イメージング	植木美乃	リハビリテーション科	¥2,000,000	補委	文部科学省
不育症における非侵襲的着床期子宮内膜機能臨床検査方法と新規関連バイオマーカーの開発	尾崎 康彦	産科婦人科	¥1,000,000	補委	文部科学省
胚盤胞腔液内のDNAを用いた無侵襲性着床前診断技術の確立と臨床への応用	佐藤 剛	産科婦人科	¥1,200,000	補委	文部科学省
抗リン脂質抗体症候群関連遺伝子に関する国際共同研究	片野 衣江	産科婦人科	¥1,000,000	補委	文部科学省
次世代シーケンサーを用いた菌叢解析による感染型不育症の病態解明と治療法の確立	北折 珠央	産科婦人科	¥1,500,000	補委	文部科学省
子宮内膜の脱落膜化不全病態に関わるプロテアーゼの同定及び非侵襲的臨床診断法の開発	後藤 志信	産科婦人科	¥700,000	補委	文部科学省
漿液性卵巣がんの早期再発バイオマーカーとなるDNAメチル化遺伝子の同定	間瀬 聖子	産科婦人科	¥1,500,000	補委	文部科学省
遺伝性腫瘍における医療格差の打開に必要なものとは！？	大瀬戸 久美子	産科婦人科	¥1,100,000	補委	文部科学省
ミトコンドリア病に合併する高乳酸血症に対するピルビン酸ナトリウム治療法の開発研究-試薬からの希少疾病治療薬開発の試み-	齋藤 伸治	小児科	¥620,000	補委	AMED(学校法人久留米大学)
PRRT2遺伝子変異の臨床的解析・PRRT2遺伝子変	齋藤 伸治	小児科	¥284,616	補	AMED(国立大学法

小計19件

異を有する患者の脳波学 解析	所属 氏名	科	予算額	委 補	人長崎大 学)
希少・難治性疾患領域に おける臨床ゲノムデータス トレージに整備に関する研究	齋藤 伸治	小児科	¥4,500,000	補 委	AMED(学 校法人慶 應義塾)
国際標準に立脚した奇形 症候群領域の診療指針に 関する学際的・網羅的検 討	齋藤 伸治	小児科	¥1,000,000	補 委	厚労省科 研費
小児の急性脳症・けいれ ん重積状態の診療指針の 確立	齋藤 伸治	小児科	¥300,000	補 委	厚労省科 研費
mTOR経路の異常により 起こる巨脳症の診断法お よび治療法開発	齋藤 伸治	小児科	¥1,200,000	補 委	日本学術 振興会(文 科省科研 費)
小児期発症の神経筋疾患 における心拍変動解析の 臨床応用	服部 文子	小児科	¥1,036,885	補 委	日本学術 振興会(文 科省科研 費)
遺伝性抱合型ビリルビン 血症に対し次世代シーク エンサーを用いた病態探 索と臨床応用	戸川 貴夫	小児科	¥2,080,000	補 委	日本学術 振興会(文 科省科研 費)
痛覚関連電位と脳代謝モ ニタリングで赤ちゃんの痛 みとストレスを感じ取る	岩田 欧介	小児科	¥1,170,000	補 委	日本学術 振興会(文 科省科研 費)
光散乱情報による早産児 の脳損傷ベッドサイド評価 による受傷機転解明と予 防法確立	岩田 幸子	小児科	¥910,000	補 委	日本学術 振興会(文 科省科研 費)
動画通話による一次施設 からの情報収集・トリアー ジ・搬送システム確立に関 する研究	岩田 欧介	小児科	¥400,000	補 委	AMED(埼 玉医科大 学)
胆道閉鎖症とアラジール 症候群の早期鑑別システ ムの確立	杉浦 時雄	小児科	¥2,340,000	補 委	日本学術 振興会(文 科省科研 費)
包括的遺伝子解析法によ る新生児・乳児胆汁うっ滞 疾患の原因遺伝子同定	遠藤 剛	小児科	¥1,430,000	補 委	日本学術 振興会(文 科省科研 費)
先天性ゴナドトロピン分泌 不全症男性の網羅的遺伝 子解析と精子形成治療法 選択への応用	水野 晴夫	小児科	¥1,560,000	補 委	日本学術 振興会(文 科省科研 費)
肺動脈性肺高血圧症にお ける線維性血管閉鎖病変 に対する治療薬の開発	篠原 務	小児科	¥1,400,000	補 委	日本学術 振興会(文 科省科研 費)
小児HBVキャリアーにお けるHBV遺伝子の網羅的 解析	伊藤 孝一	小児科	¥1,170,000	補 委	日本学術 振興会(文 科省科研 費)
新たな根治的粒子線治療 を実現する吸収性スパー サー適応拡大と実用化研 究	亀井 美智	小児科	¥769,231	補 委	AMED(国 立大学法 人神戸大 学)

小計16件

内在性神経幹細胞による脳内神経修復機構の新生児低酸素性虚血性脳症への臨床応用	加藤 丈典	小児科	¥1,430,000	補 委	日本学術振興会(文科省科研費)
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	小椋 祐一郎	眼科	¥400,000	補 委	国立保健医療科学院
今後の糖尿病対策と医療提供体制の整備のための研究	小椋 祐一郎	眼科	¥800,000	補 委	厚生労働省
次世代眼科医療を目指す、ICT/人工知能を活用した画像等データベースの基盤構築	小椋 祐一郎	眼科	¥1,961,107	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
新規糖尿病網膜症モデルマウスの開発と創薬コンセプトの確立	小椋 祐一郎	眼科	¥4,810,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
ペリサイト消失による血液網膜関門の不可逆的波状	植村 明嘉	眼科	¥5,460,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
網膜新生血管における内皮細胞ダイナミクスの解析	植村 明嘉	眼科	¥2,340,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
硝子体血管の異所性網膜内進入によるPHPV発症機序の解明	吉田 宗徳	眼科	¥1,300,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
加齢黄斑変性の病態におけるブルッフ膜への加齢性沈着脂質の役割の解明	安川 力	眼科	¥1,820,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
ケモカイン受容体を標的にした眼内血管新生制御機構の解明と新規治療法の開発	野崎 実穂	眼科	¥1,560,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
加齢黄斑変性におけるブルッフ膜修復過程の解明へ～Gタンパクの役割～	加藤 亜紀	眼科	¥910,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
加齢黄斑変性における炎症とアポトーシスの関与解明と新規治療法開発	平野 佳男	眼科	¥1,170,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
組織プラスミノゲン活性化因子による脈絡膜血管新生抑制	水谷 武史	眼科	¥1,040,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
糖尿病黄斑浮腫に対する短時間照射閾値下レーザーの奏功機序と適正サブタイプの解明	長谷川 典生	眼科	¥1,040,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
加齢黄斑変性における自然免疫の関与解明と臨床への応用	富安 胤太	眼科	¥3,120,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会

小計15件

加齢黄斑変性における非ヒiston核タンパク質の関与と解明	平野 佳男	眼科	¥2,000,000	補 委	公益信託 参天製薬 創業者記 念眼科医 学研究基 金
経頭蓋磁気刺激を用いた顔面神経麻痺の新たなリハビリテーションの開発	村上 信五	耳鼻咽喉科	¥1,080,000	補 委	文部科学省
慢性めまいに対する前庭リハビリの新たな評価法の開発と治療法の開拓	中山 明峰	耳鼻咽喉科	¥1,300,000	補 委	文部科学省
聴覚前庭系に発現するカルシウムチャネルの機能とその薬理的制御に関する包括的解析	稲垣 彰	耳鼻咽喉科	¥2,500,000	補 委	文部科学省
カルシウムチャネル修飾薬の聴覚増強作用の検討	稲垣 彰	耳鼻咽喉科	¥1,800,000	補 委	文部科学省
腫瘍溶解ウイルス HF10を用いた唾液腺癌への新たな治療法の開発	江崎 伸一	耳鼻咽喉科	¥1,600,000	補 委	文部科学省
慢性めまいの病態・発症予測因子の解明:前向きコホート研究	蒲谷 嘉代子	耳鼻咽喉科	¥600,000	補 委	文部科学省
遺伝環境交互作用を考慮した新規頭頸部がん予後予測モデルの構築	川北 大介	耳鼻咽喉科	¥3,600,000	補 委	文部科学省
制御性T細胞に着目した頭頸部癌における抗腫瘍免疫の解析と免疫治療への応用	的場 拓磨	耳鼻咽喉科	¥1,600,000	補 委	文部科学省
唾液腺がんにおける幹細胞の高悪性化と薬剤耐性化メカニズムの解明	伊地知 圭	耳鼻咽喉科	¥2,400,000	補 委	文部科学省
鼻粘膜由来組織幹細胞による顔面神経再生の研究	濱島 有喜	耳鼻咽喉科	¥2,300,000	補 委	文部科学省
嗅神経鞘細胞と生体吸収性ハイドロゲルを用いた顔面神経麻痺モデルマウスへの効果	勝見 さち代	耳鼻咽喉科	¥2,700,000	補 委	文部科学省
siRNAを用いた制御性T細胞の誘導と鼻アレルギーに対する新規治療法への応用	鈴木 元彦	耳鼻咽喉科	¥1,600,000	補 委	文部科学省
細菌感染に対する吻合部血栓形成:機序の解明と対策	鳥山 和宏	形成外科	¥3,900,000	補 委	文部科学省
在宅皮膚科光線療法実用化に向けた性能試験・実証試験	森田明理	皮膚科	¥2,691,693	補 委	AMED
免疫制御を可能とする紫外線波長特性の解析-あらたな深紫外光LED光線治療の開発	森田明理	皮膚科	¥8,700,000	補 委	文部科学省
乾癬患者の紫外線によるTH17細胞及びアデノサイトカインへの効果	齋藤稚代	皮膚科	¥1,700,000	補 委	文部科学省
精巣腫瘍のLSD1による増殖機構解明とその阻害剤による治療法開発のための基礎研究	秋田 英俊	泌尿器科	¥1,900,000	補 委	文部科学省
拡散強調画像併用MRIで同定しうる膀胱癌の分子プロファイル解明と新規診断法の樹立	永田 大介	泌尿器科	¥1,500,000	補 委	文部科学省

小計19件

ゲノム不安定性に着目した浸潤性膀胱がん遺伝子治療法の開発	山田 健司	泌尿器科	¥1,600,000	補 委	文部科学省
天然食品由来抗酸化フラボノイドの前立腺癌予防に関わる分子基盤	内木 拓	泌尿器科	¥1,900,000	補 委	文部科学省
尿道下裂の遺伝子制御機構の解明と遺伝子導入細胞シートを用いた新規手術法の開発	黒川 覚史	泌尿器科	¥2,000,000	補 委	文部科学省
腎臓分化誘導因子が関わる結石形成機序の解明と治療法への応用	藤井 泰普	泌尿器科	¥2,400,000	補 委	文部科学省
エストロゲンの抗酸化作用に着目した新規尿路結石予防法の解明と臨床応用	広瀬 真仁	泌尿器科	¥2,000,000	補 委	文部科学省
体細胞に着目した精子形成メカニズムの解明と男性不妊症治療への新規開拓	神谷 浩行	泌尿器科	¥1,500,000	補 委	文部科学省
セルトリ細胞の分化・成熟メカニズムの包括的解明と生殖医療への新展開	林 祐太郎	泌尿器科	¥1,600,000	補 委	文部科学省
男性不妊症治療へ向けた精巣へのin vivo及びex vivo遺伝子導入法の確立	岩月 正一郎	泌尿器科	¥1,700,000	補 委	文部科学省
浸潤性膀胱がんに対する磁性ナノ粒子と免疫治療を用いた新しい治療法の開発	小林 大地	泌尿器科	¥1,600,000	補 委	文部科学省
幼若期における精子幹細胞とセルトリ細胞の相互作用の解明と男性不妊症の新規治療戦略	加藤 大貴	泌尿器科	¥1,300,000	補 委	文部科学省
瀋陽医学院との教育・研究の交流拡充	安井 孝周	泌尿器科	¥385,000	補 委	特別研究奨励費
Nrf2酸化ストレス応答系の尿路結石形成への関与と治療への応用	戸澤 啓一	泌尿器科	¥850,000	補 委	特別研究奨励費
アンドロゲン受容体を介した精子幹細胞ニッチ形成機序の解明と生殖医療への臨床応用	水野 健太郎	泌尿器科	¥600,000	補 委	特別研究奨励費
去勢抵抗性前立腺癌に対する新規LSD1阻害剤とオートファジー制御による治療の開発	恵谷 俊紀	泌尿器科	¥500,000	補 委	一般社団法人日本泌尿器科学会 第11回ヤングリサーチグラント
小児期停留精巣における精子幹細胞の維持機構の解明	守時 良演	泌尿器科	¥1,000,000	補 委	公益信託第24回日本医学会総会記念医学振興基金
ベージュ細胞の分化誘導による尿路結石の予防法開発	杉野 輝明	泌尿器科	¥300,000	補 委	公益財団法人愛知腎臓財団
尿路結石溶解療法を目指したマクロファージ関連分子のオミックス解析	田口 和己	泌尿器科	¥1,000,000	補 委	一般財団法人横山臨床薬理研究助成基金

小計17件

エピジェネティック酵素LSD1に対する選択的阻害剤を用いた癌性疼痛新規治療法の開発	恵谷 俊紀	泌尿器科	¥500,000	補 委	公益財団法人前立腺研究財団
致命的疾患の再発・転移の不安、恐怖の評価法の確立および新規心理学的介入方法の開発	明智 龍男	精神科	¥1,400,000	補 委	文部科学省
人生において一度だけの重大かつ困難な意思決定に際して医師に求められる望まし態度	明智 龍男	精神科	¥900,000	補 委	文部科学省
乳がんサバイバーの再発不安・恐怖に対するInformation and communication technology(ICT)を応用した問題解決療法の有用性に関する予備的検討	明智 龍男	精神科	¥1,237,000	補 委	特別研究奨励費
乳がん患者の再発不安・恐怖に対するスマートフォン問題解決療法および行動活性化療法の有効性：無作為割付比較試験	明智 龍男	精神科	¥10,315,477	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)
患者特性に応じた薬物療法・精神療法の個別化医療とその臨床試験プロトコルの開発研究	明智 龍男	精神科	¥260,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)
重篤な身体疾患に罹患した高齢者における、病状悪化に備えた事前意思決定に関する研究	奥山 徹	精神科	¥900,000	補 委	文部科学省
進行がん患者における病状悪化に備えた事前意思決定に関する多施設研究	奥山 徹	精神科	¥1,000,000	補 委	公益財団法人がん研究振興財団
摂食障害地域家族会の治療的要素の解明：コホート研究デザインによる症状改善率の評価	山田 敦朗	精神科	¥300,000	補 委	文部科学省
慢性疼痛に対する認知行動療法の治療効果予測因子	小川 成	精神科	¥1,200,000	補 委	文部科学省
進行・再発がん患者の意思決定を支えるウェブツールの開発	内田 恵	精神科	¥700,000	補 委	文部科学省
慢性めまいに対する新世代認知行動療法：無作為化比較試験による効果検証と病態解明	近藤 真前	精神科	¥1,020,000	補 委	文部科学省
早期精神病の家族負担軽減のための新規介入の開発とRCTによる効果研究	白石 直	精神科	¥900,000	補 委	文部科学省
難治性パニック障害に対する新規心理療法の開発研究と効果検証	井野 敬子	精神科	¥900,000	補 委	文部科学省
ゲーミフィケーションを用いた抗不安薬中止のためのWebプログラム：無作為割付試験	伊井 俊貴	精神科	¥1,000,000	補 委	文部科学省
拒絶過敏性を愛着の問題として介入する否定型うつ病の対人関係療法の開発と効果検証	今井 理紗	精神科	¥700,000	補 委	文部科学省

小計16件

身体心理学的アプローチを取り入れた看護師のストレスケアプログラムの開発と効果検証	中口 智博	精神科	¥900,000	補 委	文部科学省
がん罹患に伴う心理的成長を促すスマートフォンによる問題解決の開発と効果検証	今井 文信	精神科	¥1,300,000	補 委	文部科学省
陽子線における生物学的現象の徹底解明 X線生物学との比較	芝本雄太	放射線科	¥1,100,000	補 委	文部科学省
孤立性肝細胞癌に対する体幹部定放射線治療の有効性を検証する多施設共同試験	石倉聡	放射線科	¥850,000	補 委	文部科学省
縦隔腫瘍におけるmonoenergeticCTを用いた画像診断法の確立	小澤良之	放射線科	¥500,000	補 委	文部科学省
肺動静脈奇形に対する根治治療:ハイドロコイルによる再開通しない寒栓術の確立	下平政史	放射線科	¥500,000	補 委	文部科学省
小児転生心疾患に対する高速二重螺旋状スキャン使用下心電同期CTの臨床応用	中川基生	放射線科	¥900,000	補 委	文部科学省
超音波エラストグラフィによる乳房硬化の評価と患者ケアおよび効果判定モデルの構築	浦野みすぎ	放射線科	¥1,500,000	補 委	文部科学省
新しいMRIを用いた腫瘍内低酸素イメージングの開発	村井太郎	放射線科	¥600,000	補 委	文部科学省
放射線腸炎に対する半夏瀉心湯の効果	村井太郎	放射線科	¥600,000	補 委	公益財団法人東洋医学研究財団
認知症患者に対する安全な麻酔法と周術期の増悪予防法の確立	祖父江 和哉	麻酔科	¥600,000	補 委	文部科学省
周術期脳傷害に対する再生医療の応用を目指した基礎的研究	太田 晴子	麻酔科	¥600,000	補 委	文部科学省
術後有害事象レジストリによる麻酔後ケアユニットの有用性検証	仙頭 佳起	麻酔科	¥400,000	補 委	文部科学省
糖尿病患者における術後痛増強への酸感受性イオンチャンネルの関与の解析	草間 宣好	麻酔科	¥1,150,000	補 委	文部科学省
ミクログリアを介したエリスロポエチンの脳保護作用機序の解明と治療薬開発の基盤研究	田村 哲也	麻酔科	¥650,000	補 委	文部科学省
アストロサイトのカリウム制御メカニズムに注目した新規脳浮腫治療法の探索	加古 英介	麻酔科	¥1,450,000	補 委	文部科学省
がん患者における術後認知機能障害の発症機序の解明と予防法の確立	佐野 文昭	麻酔科	¥1,100,000	補 委	文部科学省
薬物性肝障害におけるホエイペプチドの肝障害保護効果の基礎的研究と臨床応用	平手 博之	麻酔科	¥1,050,000	補 委	文部科学省

小計18件

水分子のターンオーバーからみた特発性正常圧水頭症の病態解明	間瀬 光人	脳神経外科	¥800,000	補 委	リハビリテーション研究基金研究事業等助成金
心周期における拡散係数の変化量からみた脳および脳腫瘍の硬さの研究	山田 紘史	脳神経外科	¥1,820,000	補 委	文部科学省
表面微細形状を有する脳血管内治療用カテーテルの開発	西川 祐介	脳神経外科	¥910,000	補 委	文部科学省
アルツハイマー病の改善を目的としたリーリン分解酵素群阻害薬の開発	松川 則之	神経内科	¥3,000,000	補 委	AMED
細胞外マトリックス制御による脳梗塞後の内在性神経再生能の促進	藤岡 哲平	神経内科	¥2,210,000	補 委	文部科学省
光線力学療法を応用した新規インプラント周囲炎治療法の開発	堀井 幸一郎	歯科口腔外科	5,000,000	補 委	文部科学省
C型肝炎の新たな治療関連因子及び治療後の病態進展・改善に関連する宿主因子等の同定を目指したゲノムワイド研究	田中 靖人	中央臨床検査部	¥137,300,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)
B型肝炎ウイルスの持続感染を再現する効率的な培養細胞評価系の開発に関する研究	田中 靖人	中央臨床検査部	¥129,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)

小計8件

計159件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Akatsu H, Sabbagh MN, Schäuble B 他	総合内科・総合診療科	Histopathology and Florbetaben PET in Patients Incorrectly Diagnosed with Alzheimer's Disease.	J Alzheimers Dis.2017;56(2):441-446	Original Article
2	Akatsu H, Niwa A, Ii Y, Shindo A 他	総合内科・総合診療科	Comparative Analysis of Cortical Microinfarcts and Microbleeds using 3.0-Tesla Postmortem Magnetic Resonance Images and Histopathology.	J Alzheimers Dis. 2017;59(3):951-959.	Original Article
3	Kato A, Kataoka H*, Yano S 他	肝・膵臓内科	Maltotriose conjugation to a chlorin derivative enhances the antitumor effects of photodynamic therapy in peritoneal dissemination of pancreatic cancer.	Molecular Cancer Therapeutics. 2017 Jun;16(6):1124-32.	Original Article
4	Kato A, Naitoh I*, Miyabe K 他	肝・膵臓内科	Differential diagnosis of cholangiocarcinoma and IgG4-related sclerosing cholangitis by fluorescence in situ hybridization using transpapillary forceps biopsy specimens.	Journal of Hepato- Biliary-Pancreatic Sciences. 2018 Mar 25(3):188-94.	Original Article
5	Kato A, Naitoh I*, Kato H 他	肝・膵臓内科	Case of pancreatic metastasis from colon cancer in which cell block using the Trefle ® endoscopic scraper enables differential diagnosis from pancreatic cancer.	World Journal of Gastrointestinal Oncology. 2018 Mar 15;10(3):91-95.	Case report
6	Jinno N, Naitoh I, Nagura Y 他	肝・膵臓内科	Percutaneous Transhepatic Self- expanding Metallic Stent Placement for the Treatment of Malignant Afferent Loop Obstruction.	Intern Med. 2018 Feb 1;57(3):333-337.	Case report

小計6件

7	Hori Y, Naitoh I, Hayashi K 他	肝・膵臓内科	Covered duodenal self-expandable metal stents prolong biliary stent patency in double stenting: The largest series of bilioduodenal obstruction.	J Gastroenterol Hepatol. 2018 Mar;33(3):696-703	Original Article
8	Hori Y, Naitoh I, Hayashi K 他	肝・膵臓内科	Predictors of stent dysfunction after self-expandable metal stent placement for malignant gastric outlet obstruction: tumor ingrowth in uncovered stents and migration of covered stents.	Surg Endosc. 2017 Oct;31(10):4165-4173.	Original Article
9	Hori Y, Hayashi K, Yoshida M	肝・膵臓内科	Novel characteristics of traction force in biliary self-expandable metallic stents.	Dig Endosc. 2017 May;29(3):347-352.	Original Article
10	Yoshida M, Marumo Y, Naitoh I 他	肝・膵臓内科	Autoimmune Hemolytic Anemia Obscured by the Obstructive Jaundice Associated with IgG4-related Sclerosing Cholangitis in a Patient with Type 1 Autoimmune Pancreatitis: A Case Report and Review of the Literature.	Intern Med. 2018 Jun 15;57(12):1725-1732.	Case report
11	Hijioka S, Hosoda W, Matsuo K 他	肝・膵臓内科	Rb Loss and KRAS Mutation Are Predictors of the Response to Platinum-Based Chemotherapy in Pancreatic Neuroendocrine Neoplasm with Grade 3: A Japanese Multicenter Pancreatic NEN-G3 Study.	Clin Cancer Res. 2017 Aug 15;23(16):4625-4632.	Original Article
12	Abou-Alfa GK, Andersen JB, Chapman W 他	肝・膵臓内科	Advances in cholangiocarcinoma research: report from the third Cholangiocarcinoma Foundation Annual Conference.	J Gastrointest Oncol. 2016 Dec;7(6):819-827.	Original Article

小計6件

13	Nojiri S, Fujiwara K, Shinkai N, Iio E, Joh T.	肝・膵臓内科	Effects of branched-chain amino acid supplementation after radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma: A randomized trial.	Nutrition. 2017 Jan;33:20-27.	Original Article
14	Nojiri S, Fujiwara K, Shinkai N, Endo M, Joh T	肝・膵臓内科	Evaluation of hepatocellular carcinoma development in patients with chronic hepatitis C by EOB-MRI	World J Hepatol 2014 December 27; 6(12): 930-938	Original Article
15	Ohguchi H, Mitsui R, Imaeda K, et al.	内分泌・糖尿病内科	Mechanisms of PTHrP-induced inhibition of smooth muscle contractility in the guinea pig gastric antrum.	Neurogastroenterol Motil. 29(12) 2017	Original Article
16	D.Aotani, H.Ariyasu, S.Shimazu-Kuwahara, et al.	内分泌・糖尿病内科	Development of ghrelin transgenic mice for elucidation of clinical implication of ghrelin.	Endocr J. 2017;64(Suppl.):S31-S33,2017	Original Article
17	Koyama H, Ohguchi H, Yagi T, et al.	内分泌・糖尿病内科	Nocturnal reactive hypoglycaemia well treated subjectively and objectively with voglibose.	BMJ Case Rep. 2017 Oct 4;2017 pii:bcr-2017-220295	Case report
18	T.Yagi, E.Kubota, H.Koyama, et al.	内分泌・糖尿病内科	Glucagon promotes colon cancer cell growth via regulating AMPK and MAPK pathways.	Oncotarget. 9(12):10650-10664, 2018	Original Article
19	T.Yagi, T.Tanaka, Y.Hayashi, et al.	内分泌・糖尿病内科	Switching of other dipeptidyl peptidase 4 inhibitors to alogliptin improves glycemic control in Japanese patients with type2 diabetes mellitus.	Nagoya Medical Journal, 2018 Jun 15	Original Article
20	H.Koyama, T.Tanaka, K.Imaeda.	内分泌・糖尿病内科	Suspected case of lipoedema in Japanese woman with a characteristic histology in skin biopsy	BMJ Case Rep. 2017 pii:bcr-2017-221049	Case report
21	H.Ohguchi, K.Imaeda, A Hotta, et al.	内分泌・糖尿病内科	An Aautopsy Case of Pulmonary Tumor Thrombeti Microangiopathy Due to Rapidly Progressing Colon Cander in a Patient with Tupe 2 Diabetes	Internal Medicine, 2018 doi:10.219	Case report

小計9件

22	Aaano T, Kanemitsu Y, Takemura M, et al.	呼吸器・アレルギー内科	Serum Periostin as a Biomarker for Comorbid Chronic Rhinosinusitis in Patients with Asthma.	Ann Am Thorac Soc. 2017 May;14(5):667-675	Original Article
23	Uemura T, Oguri T, Okayama M, et al.	呼吸器・アレルギー内科	Dramatic intracranial response to osimertinib in a poor performance status patient with lung adenocarcinoma harboring the epidermal growth factor receptor T790M mutation: A case report.	Mol Clin Oncol. 2017 Apr;6(4):525-528.	Case report
24	Aaano T, Takemura M, Kanemitsu Y, et al.	呼吸器・アレルギー内科	Combined measurements of fractional exhaled nitric oxide and nasal nitric oxide levels for assessing upper airway diseases in asthmatic patients.	J Asthma. 2018 Mar;55(3):300-309.	Original Article
25	Takakuwa O, Oguri T, Uemura M, et al	呼吸器・アレルギー内科	Osimertinib-induced interstitial lung disease in a patient with non-small cell lung cancer pretreated with nivolumab: A case report.	Mol Clin Oncol. 2017 Sep;7(3):383-385.	Case report
26	Sone K, Oguri T, Kitamura Y, et al.	呼吸器・アレルギー内科	Predictive Role of CYFRA21-1 and CEA for Subsequent Docetaxel in Non-small Cell Lung Cancer Patients.	Anticancer Res. 2017 Sep;37(9):5125-5131.	Original Article
27	Takemura M, Nishio M, Fukumitsu K, et al.	呼吸器・アレルギー内科	Optimal cut-off value and clinical usefulness of the Adherence Starts with Knowledge-12 in patients with asthma taking inhaled corticosteroids.	J Thorac Dis. 2017 Aug;9(8):2350-2359.	Original Article
28	Takeuchi A, Oguri T, Sone K, et al.	呼吸器・アレルギー内科	Predictive and Prognostic Value of CYFRA 21-1 for Advanced Non-small Cell Lung Cancer Treated with EGFR-TKIs.	Anticancer Res. 2017 Oct;37(10):5771-5776.	Original Article
29	Maeno K, Fukuda S, Oguri T, et al.	呼吸器・アレルギー内科	Nivolumab-induced asthma in a patient with non-small-cell lung cancer.	Ann Oncol. 2017 Nov 1;28(11):2891.	Case report

小計8件

30	Sato R, Fukuda M, Ohte N, 他	腎臓内科	A case series of favorable vessel dilatation using a nitinol scoring element-equipped helical balloon catheter (AngioSculpt®).	J Vasc Access. 2018 Mar 1;1129729818757978.	Original Article
31	Isobe-Sasaki Y, Fukuda M, Ohte N, 他	腎臓内科	Sodium balance, circadian BP rhythm, heart rate variability, and intrarenal renin-angiotensin-aldosterone and dopaminergic systems in acute phase of ARB therapy.	Physiol Rep. 2017 Jun;5(11). pii: e13309.	Original Article
32	Iida S, Suzuki K, Kusumoto S, et al.	血液・腫瘍内科	Safety and efficacy of daratumumab in Japanese patients with relapsed or refractory multiple myeloma: a multicenter, phase 1, dose-escalation study.	Int J Hematol 2017; 106: 541-551.	Original Article
33	Narita T, Ishida T, Ito A, et al.	血液・腫瘍内科	Cyclin-dependent kinase 9 is a novel specific molecular target in adult T-cell leukemia/lymphoma.	Blood 2017;130(9): 1114-1124.	Original Article
34	Ri M, Matsue K, Sunami K, et al.	血液・腫瘍内科	Efficacy and safety of plerixafor for the mobilization/collection of peripheral hematopoietic stem cells for autologous transplantation in Japanese patients with multiple myeloma.	Int J Hematol. 2017 ;106(4):562-572	Original Article
35	Hara Masayasu, Nagasaki Takaya, Shiga Kazuyoshi 他	消化器・一般外科	High serum levels of interleukin-6 in patients with advanced or metastatic colorectal cancer: The effect on the outcome and the response to chemotherapy plus bevacizumab.	Surgery Today 2017 Apr;47(4):483-489	Original Article
36	Ishiguro Hideyuki, Okubo Tomotaka, Kuwabara Yoshiyuki 他	消化器・一般外科	NOTCH1 activates the Wnt/β-catenin signaling pathway in colon cancer.	Oncotarget 2017 Sep;8(36):60378-60389	Original Article

小計7件

37	Nakai Nozomu, Yamaguchi Tomohiro, Kinugasa Yusuke 他	消化器・一般外科	Long-term outcomes after resection of para-aortic lymph node metastasis from left-sided colon and rectal cancer.	International Journal of Colorectal Disease 2017 Apr;32:999-1007	Original Article
38	Kenta Saito, Yoichi Matsuo, Hiroyuki Imafuji 他	消化器・一般外科	Xanthohumol inhibits angiogenesis by suppressing nuclear factor- κ B activation in pancreatic cancer.	Cancer Science 2017 Nov;109(1):132-140	Original Article
39	Kimura Masahiro, Ishiguro Hideyuki, Tanaka Tatsuya 他	消化器・一般外科	A method for shaping a smooth gastric tube -How to solve the problem of intersection-	European Surgical Research 2017 Apr;49:84-88	Original Article
40	Kimura Masahiro, Nagasaki Takaya, Tanaka Tatsuya 他	消化器・一般外科	Eversion stripping of the esophagus with intraesophageal insufflation-A case report.	International Journal of Surgery Case Reports 2017 May;36:86-89	Original Article
41	Kimura Masahiro, Shibata Yasuyuki, Ishiguro Hideyuki 他	消化器・一般外科	Investigation of deformities in staples used for gastrectomy.	Journal of Advanced Medical and Dental Sciences Research 2017 Oct;24(5):1-7	Original Article
42	Maeda Yuzo, Takahashi Hiroki, Nakai Nozomu 他	消化器・一般外科	Apigenin induces apoptosis by suppressing Bcl-xl and Mcl-1 simultaneously via signal transducer and activator of transcription 3 signaling in colon cancer.	International Journal of Oncology 2018 Mar;52:1661-1673	Original Article
43	Suzuki A, Okuda K, Yano M, et al.	呼吸器外科	Exon 7 splicing variant of estrogen receptor alpha is correlated with pathological invasiveness in smoking independent lung cancer.	Oncology Letters, 2017 Jul; 14(1):891-898	Original Article
44	Okuda K, Oda R, Suzuki A, et al.	呼吸器外科	Expression of excision repair cross-complementation group 1 and class III β -tubulin in thymic carcinoma.	Oncol Lett, 2017 May; 13(5):3144-3150	Original Article
45	Okuda K, Oda R, Suzuki A, et al.	呼吸器外科	Clinicopathological factors influenced the prognosis of surgically resected pulmonary pleomorphic carcinoma.	J Thorac Dis, 2017 May; 9(5):1295-1302	Original Article

小計9件

46	Tatematsu T, Okuda K, Suzuki A, et al.	呼吸器外科	The detectability of the pretreatment EGFR T790M mutations in lung adenocarcinoma using CAST-PCR and Digital PCR.	J Thorac Dis, 2017 Aug; 9(8):2397-2403	Original Article
47	Yano M, Fujii Y, Yoshida J, et al.	呼吸器外科	A Phase II Study of Partial and Subtotal Thymectomy for Thymoma (JART02).	World J Surg. 2017 Aug; 41(8):2033-2038	Original Article
48	Okuda K, Watanabe T, Oda R, et al.	呼吸器外科	Pulmonary inflammatory myofibroblastic tumor with TPM4-ALK translocation.	J Thorac Dis, 2017 Nov; 9(11):E1013-E1017	Case report
49	Okuda K, Moriyama S, Haneda H, et al.	呼吸器外科	Recent advances in video-assisted transthoracic tracheal resection followed by reconstruction under non-intubated anesthesia with spontaneous breathing.	J Thorac Dis, 2017 Sep; 9(9):2891-2894	Original Article
50	Yano M, Okuda K, Kawano O, et al.	呼吸器外科	Thoracoscopic Thymectomy with Tangential Partial Resection of the Innominate Vein.	Ann Thorac Cardiovasc Surg, 2017 Aug; 23:207-210	Original Article
51	Okuda K, Moriyama S, Haneda H, et al.	呼吸器外科	Specific mutations in thymic epithelial tumors	Mediastinum, 2017 Nov; 1:16	Original Article
52	Okuda K, Yano M, Tatematsu T, et al.	呼吸器外科	S-1 vs. paclitaxel plus carboplatin as adjuvant chemotherapy for completely resected stage II/III A non-small-cell lung cancer.	Mol clin oncol, 2018 Jan; 8:73-79	Original Article
53	Sakane T, Muras T, Okuda K, et al.	呼吸器外科	A Comparative Study of PD-L1 Immunohistochemical Assays with Four Reliable Antibodies in Thymic Carcinoma.	Oncotarget, 2018 Jan; 9:6993-7009	Original Article
54	Nakanishi R, Oda R, Sakane T, et al.	呼吸器外科	Video-assisted thoracoscopic surgery (VATS) for central airway tumors: VATS carinal resection and reconstruction Video-assist.	Thorac Surg, 2018 Feb; 3:7	Review
55	Mizutani J, Inada A, Kato K 他	整形外科	Advantages of an on-the-screwhead crosslink connector for atlantoaxial fixation using the Goel/Harms technique.	J Clin Neurosci. 2018 Apr; 50:183-189.	Original Article

小計10件

56	Matsumoto Y, Mizutani J, Suzuki N, 他	整形外科	Temporary Internal Fixation Using C1 Lateral Mass Screw and C2 Pedicle Screw (Goel-Harms Technique) without Bone Grafting for Chronic Atlantoaxial Rotatory Fixation.	World Neurosurg. 2017 Jun;102:696.e1-696.e6.	Original Article
57	Sugiura-Ogasawara M, Omae Y, Kawashima M, 他	産科婦人科	The first genome-wide association study identifying new susceptibility loci for obstetric antiphospholipid syndrome.	J Hum Genet. 2017 62: 831-838.	Original Article
58	Takeda E, Suzumori N, Ebara T, 他	産科婦人科	Psychological distress in postpartum women after non-invasive prenatal testing (NIPT) in Japan.	J Obstet Gynecol Res. 2017 doi: 10.1111/jog.13483.	Original Article
59	Yuki Sawada, Takeshi Sato, Chieko Saito, 他	産科婦人科	Clinical utility of decorin in follicular fluid as a biomarker of oocyte potential	Reproductive Biology (ARTICLE IN PRESS) . 2017	Original Article
60	Kohei Aoyama, Haruo Mizuno, Tatsushi Tanaka, 他	小児科	Molecular genetic and clinical delineation of 22 patients with congenital hypogonadotropic hypogonadism.	J Pediatr Endocrinol Metab 40(2) :134-139; 2017	Original Article
61	Ohashi K, Togawa T, Sugiura T, 他	小児科	Combined genetic analyses can achieve efficient diagnostic yields for subjects with Alagille syndrome and incomplete Alagille syndrome.	Acta Paediatr 106:1817-1824;2017	Original Article
62	Kato K, Miya F, Hori I, 他	小児科	A novel missense mutation in the HECT domain of NEDD4L identified in a girl with periventricular nodular heterotopia, polymicrogyria and cleft palate.	J Hum Genet 62(9) :861-863;2017	Case report
63	Nakano M, Uemura O, Honda M, 他	小児科	Development of tandem mass spectrometry-based creatinine measurement using dried blood spot for newborn mass screening.	Pediatr Res 82:237-243; 2017	Original Article

小計8件

64	Nakamura Y, Hattori A, Nakashima M, 他	小児科	S. A de novo p.Arg756Cys mutation in ATP1A3 causes a distinct phenotype with prolonged weakness and encephalopathy triggered by fever.	Brain Dev 40(3) :222- 225;2017	Case report
65	Nakamura Y, Togawa Y, Okuno Y, 他	小児科	Biallelic mutations in SZT2 cause a discernible clinical entity with epilepsy, developmental delay, macrocephaly and a dysmorphic corpus callosum.	Brain Dev. ;40(2):134- 139; 2017	Case report
66	Negishi Y, Miya F, Hattori A, 他	小児科	A combination of genetic and biochemical analyses for the diagnosis of PI3K-AKTmTOR pathway-associated megalencephaly.	BMC Medical Genetics 18 (1) :4;2017	Original Article
67	Hori I, Kawamura R, Nakabayashi K, 他	小児科	S. CTCF deletion syndrome: clinical features and epigenetic delineation.	J Med Genet 54:836-832; 2017	Case report
68	Hori I, Otomo T, Nakashima M, 他	小児科	S. Defects in autophagosome- lysosome fusion underlie Vici syndrome, a neurodevelopmental disorder with multisystem involvement.	Sci Rep 7 (1) :3552;2017	Original Article
69	Wakano Y, Sugiura T, Endo T, 他	小児科	S.. Antiviral therapy for hepatitis B virus during second pregnancies.	Obstet Gynaecol Res. 44(3):566-569.;2018	Original Article
70	Hirahara Shuichiro, Nozaki Miho, Ohbayashi Masaharu, et al.	眼科	Suppression of retinal neovascularization by anti-CCR3 treatment in an oxygen-induced retinopathy model in mice.	Ophthalmic Res. 2017 Apr; 58: 56-66.	Original Article
71	Kurobe Ryo, Hirano Yoshio, Niwa Naomi, et al.	眼科	Wide-field fluorescein and indocyanine green angiography findings in the eyes with Vogt-Koyanagi- Harada disease.	J Ophthalmic Inflamm Infect. 2017 Dec; 7: 16.	Original Article

小計8件

72	Arai Kon-ichi, Yasukawa Tsutomu, Kato Aki, et al.	眼科	Tissue plasminogen activator as an antiangiogenic agent in experimental corneal neovascularization in rabbits.	Ophthalmic Res. 2018 Mar; 59: 170-175.	Original Article
73	Kawakita D 他	耳鼻いんこう科	The impact of folate intake on the risk of head and neck cancer in the Prostate, Lung, Colorectal, and Ovarian Cancer Screening Trial (PLCO) cohort.	British Journal of Cancer. 2018 Jan; 118(2): 299-306	Original Article
74	Kawakita D 他	耳鼻いんこう科	Alcohol and head and neck cancer.	Cancer and Metastasis and Reviews. 2017 Sep; 36(3): 425-434	Review
75	Kawakita D 他	耳鼻いんこう科	Impact of oral hygiene on head and neck cancer risk in a Chinese Population.	Head and Neck. 2017 Dec; 39(12): 2549-2557	Original Article
76	Kawakita D 他	耳鼻いんこう科	Dietary fiber intake and head and neck cancer risk: a pooled analysis in the International Head and Neck Cancer Epidemiology consortium.	International Journal of Cancer. 2017 Nov; 141(9): 1811-1821	Original Article
77	Esaki S 他	耳鼻いんこう科	Blockade of transforming growth factor β signaling enhances oncolytic herpes simplex virus efficacy in patient-derived recurrent glioblastoma models.	International Journal of Cancer. 2017 Dec; 141(11): 2348-2358	Original Article
78	Matoba T 他	耳鼻いんこう科	Chemo-selection with docetaxel, cisplatin and 5-fluorouracil (TPF) regimen followed by radiation therapy or surgery for pharyngeal and laryngeal carcinoma.	Japanese Journal of Clinical Oncology. 2017 Nov; 47(11): 1031-1037	Original Article
79	Arima S 他	耳鼻いんこう科	A case of involuntary rhythmic and characteristic tapping sounds during sleep.	Sleep Medicine. 2017 Aug; 36: 35-37	Case report
80	Ijichi K 他	耳鼻いんこう科	Monitoring of recurrent and superior laryngeal nerve function using as Airwayscope during thyroid surgery	Molecular Clinical Oncology. 2017 Oct; 7(4): 673-676	Original Article
81	Ijichi K 他	耳鼻いんこう科	Surgical treatment of parapharyngeal space tumors: A report of 29 cases.	Oncology Letter. 2017 Sep; 14(3): 3249-3254	Original Article

小計10件

82	Suzuki M 他	耳鼻いんこう科	Sinonasal organised haematoma: clinical features and successful application of modified transnasal endoscopic medial maxillectomy.	The Journal of Laryngology & Otology. 2017 Aug; 131(8): 696-701	Original Article
83	Suzuki M 他	耳鼻いんこう科	Modified transnasal endoscopic medial maxillectomy through prelacrima duct approach.	Laryngoscope. 2017 Oct; 127(10): 2205-2209	Original Article
84	Suzuki M 他	耳鼻いんこう科	Repair of Orbital Floor Fracture With Modified Transnasal Endoscopic Approach Through Anterior Space to Nasolacrimal Duct.	Journal of Craniofacial Surgery. 2017 Jun; 28(4): 998-1002	Original Article
85	Suzuki M 他	耳鼻いんこう科	Intranasal administration of IL-35 inhibits allergic responses and symptoms in mice with allergic rhinitis.	Allergology International. 2017 Apr; 66(2): 351-356	Original Article
86	Kubo R, Nishida E, Morita A 他	皮膚科	Bath-PUVA therapy improves impaired resting regulatory T cells and increases activated regulatory T cells in psoriasis.	J Dermatol Sci. 2017 Apr;86(1):46-53	Original Article
87	Akimichi Morita , Shinnosuke Muramatsu, Kan Torii & Emi Nishida 他	皮膚科	Low incidence of hypercalcemia following combined calcipotriol hydrate/betamethasone dipropionate ointment treatment in Japanese patients with severe psoriasis vulgaris	J Dermatol Treat 1-5, 2018	Original Article
88	Ohnishi H, Nishida E, Fukao T, Ikeda S 他	皮膚科	Genetic background and therapeutic response in generalized pustular psoriasis patients treated with granulocyte and monocyte adsorption apheresis.	Eur J Dermatol. 2018 Feb 1;28(1):108-111.	Original Article
89	Unno Rei, Taguchi Kazumi, Okada Atsushi et al.	泌尿器科	Potassium-sodium citrate prevents the development of renal microcalculi into symptomatic stones in calcium stone-forming patients	International Journal of Urology. 2017 Apr; 24(4):334-335	Original Article

小計8件

90	Nishio Hidenori, Mizuno Kentaro, Kato Taiki et al.	泌尿器科	A rare case of epididymal abscess in an infant treated successfully with needle aspiraton	Urology Case Reports. 2017 Apr; 13:26-27	Case report
91	Sugino Teruaki, Hamamoto Shuzo, Unno Rei et al.	泌尿器科	Two-year-old girl with impacted ureteral stone successfully treated with a single session of combined percutaneous nephrostomy and ureteroscopy	International Journal of Urology. 2017 Apr; 24(4):326-329	Case report
92	Tanaka Yutaro, Okamura Takehiko, Nagai Takashi et al.	泌尿器科	A study of patients with primary mediastinal germ cell tumors treated using multimodal therapy	Advances in Urology. 2017 May (オンライン)	Case report
93	Takeda Tomoki, Iwatsuki Shoichiro, Hamakawa Takashi et al	泌尿器科	Chromosomal anomalies and sperm retrieval outcomes of patients with non-obstructive azoospermia: a case series	Andrology. 2017 May; 5(3):473-476	Original Article
94	Mizuno Kentaro, Kojima Yoshiyuki, Kurokawa Satoshi et al.	泌尿器科	Robot-assisted laparoscopic pyeloplasty for ureteropelvic junction obstruction: comparison between pediatric and adult patients-Japanese series	Journal of Robotic Surgery. 2017 Jun; 11(2):151-157	Original Article
95	Taguchi Kazumi, Usawachintac hit Manint, Hamamoto Shuzo et al.	泌尿器科	Optimizing RNA extraction of renal papilla biopsy tissue in kidney stone formers: a new methodology for genomic study	Journal of Endourology. 2017 Sep; 31(9):922-929	Original Article
96	Nagai Takashi, Okamura Takehiko, Taki Yosuke et al.	泌尿器科	Extramedullary plasmacytoma of the ureter in an HIV-positive patient	International Cancer Conference Journal. 2017 Oct; 6(4):171-174	Case report

小計7件

97	Etani Toshiaki, Naiki Taku, Yamaguchi Sachiyo et al.	泌尿器科	Antimicrobial susceptibility of pathogens in acute uncomplicated cystitis cases in the Urology Department of a community hospital in Japan: comparison with treatment outcome and hospital-wide antibiogram	Journal of Infection and Chemotherapy. 2017 Oct; 23(10):692-697	Original Article
98	Naiki Taku, Iida Keitaro, Kawai Noriyasu et al.	泌尿器科	A pilot study of gemcitabine and paclitaxel as third-line chemotherapy in metastatic urothelial carcinoma	The Japanese Association of Rural Medicine. 2017 Nov; 12(2):105-111	Original Article
99	Naiki Taku, Etani Toshiaki, Naiki-Ito Aya et al.	泌尿器科	Metastatic urothelial carcinoma with glandular differentiation that confirmed the response by autopsy specimen to second-line mFOLFOX6 (Fluorouracil, Oxaliplatin, and Leucovorin) plus bevacizumab chemotherapy	Case Reports in Oncology. 2017 Nov; 10(3):1057-1064	Case report
100	Nagai Takashi, Okamura Takehiko, Tanaka Yutaro et al.	泌尿器科	The neutrophil-to-lymphocyte ratio as a prognostic factor for long-term Interleukin-2 use in renal cell carcinoma	Immunome Research. 2017 Nov (オンライン)	Original Article
101	Kubota Hiroki, Fukuta Katsuhiko, Yamada Kenji et al.	泌尿器科	Feasibility of metronomic chemotherapy with tegafur-uracil, cisplatin, and dexamethasone for docetaxel-refractory prostate cancer	Journal of Rural Medicine. 2017 Nov; 12(2): 112-119	Original Article
102	Kurokawa Satoshi, Umemoto Yukihiro, Mizuno Kentaro et al.	泌尿器科	New steps of robot-assisted radical prostatectomy using the extraperitoneal approach: a propensity-score matched comparison between extraperitoneal and transperitoneal approach in Japanese patients	BMC Urology. 2017 Nov; 17(1):106	Original Article

小計6件

103	Mizuno Kentaro, Nakane Akihiro, Nishio Hidenori et al.	泌尿器科	Involvement of the bone morphogenic protein/SMAD signaling pathway in the etiology of congenital anomalies of the kidney and urinary tract accompanied by cryptorchidism	BMC Urology. 2017 Nov; 17(1):112	Original Article
104	Hamamoto Shuzo, Unno Rei, Taguchi Kazumi et al.	泌尿器科	A new navigation system of renal puncture for endoscopic combined intrarenal surgery: real-time virtual sonography-guided renal access	Urology. 2017 Nov; 109:44-50	Original Article
105	Sugino Teruaki, Ando Ryosuke, Unno Rei et al.	泌尿器科	Complete remission of metastatic pheochromocytoma in 123I-metaiodobenzylguanidine scintigraphy after a single session of 131I-metaiodobenzylguanidine therapy: a case report	BMC Research Notes. 2017 Dec; 10(1):750	Case report
106	Kato Taiki, Mizuno Kentaro, Naiki Taku et al.	泌尿器科	Urothelial carcinoma of the urinary bladder in a 12-year-old girl: A case report with immunohistological analysis and a review of the literature	Urology Case Reports. 2018 Mar; 17:29-31	Case report
107	Nagai Takashi, Naiki Taku, Iida Keitaro et al.	泌尿器科	Early abiraterone acetate treatment is beneficial in Japanese castration-resistant prostate cancer after failure of primary combined androgen blockade	Prostate International. 2018 Mar; 6(1):18-23	Original Article
108	Okada Atsushi, Hamamoto Shuzo, Taguchi Kazumi et al.	泌尿器科	Kidney stone formers have more renal parenchymal crystals than non-stone formers, particularly in the papilla region	BMC Urology. 2018 Mar; 18(1):19	Original Article
109	Naiki Taku, Naiki-Ito Aya, Iida Keitaro et al.	泌尿器科	GPX2 promotes development of bladder cancer with squamous cell differentiation through the control of apoptosis	Oncotarget. 2018 Mar; 9(22):15847-15859	Original Article

小計7件

110	Akechi, T., Aiki, S., Sugano, K., Uchida, M.他	精神科	Does cognitive decline decrease health utility value in older adult patients with cancer?	Psychogeriatrics 17(3):149-154	Original Article
111	Akechi, T., Suzuki, M., Hashimoto, N.他	精神科	Different pharmacological responses in late-life depression with subsequent dementia: a case supporting the reserve threshold theory.	Psychogeriatrics 17(6):500-501	Others
112	Ino, K., Ogawa, S., Kondo, M、他	精神科	Anxiety sensitivity as a predictor of broad dimensions of psychopathology after cognitive behavioral therapy for panic disorder.	Neuropsychiatr Dis Treat 13(1835-1840	Original Article
113	Ogawa, S., Imai, R., Suzuki, M.	精神科	The Mechanisms Underlying Changes in Broad Dimensions of Psychopathology During Cognitive Behavioral Therapy for Social Anxiety Disorder.	J Clin Med Res 9(12):1019-1021	Original Article
114	Ogawa, S., Kondo, M., Ino, K.	精神科	Fear of Fear and Broad Dimensions of Psychopathology over the Course of Cognitive Behavioural Therapy for Panic Disorder with Agoraphobia in Japan.	East Asian Arch Psychiatry 27(4):150-5	Original Article
115	Ogawa, S., Kondo, M., Okazaki, J.	精神科	The relationships between symptoms and quality of life over the course of cognitive-behavioral therapy for panic disorder in Japan.	Asia Pac Psychiatry 9(2)	Original Article
116	Miyakawa A, Shibamoto Y, Takemoto S, et al.	放射線科	Fractionated stereotactic radiotherapy for metastatic brain tumors that recurred after gamma knife radiosurgery results in acceptable toxicity and favorable local control.	Int J Clin Oncol. 2017 Apr;22(2):250-256.	Original Article
117	Serizawa T, Higuchi Y, Nagano, et al.	放射線科	Robustness of the neurological prognostic score in brain metastasis patients treated with Gamma Knife radiosurgery.	J Neurosurg. 2017 Nov;127(5):1000-1006.	Original Article

小計8件

118	Murai T, Hattori Y, Sugie C, et al.	放射線科	Comparison of multileaf collimator and conventional circular collimator systems in Cyberknife stereotactic radiotherapy.	J Radiat Res. 2017 Sep 1;58(5):693-700.	Original Article
119	Ogawa M, Ozawa Y, Ohta K, et al.	放射線科	Usefulness of 3D balanced turbo-field-echo MR sequence evaluating the branching pattern of the intrahepatic bile ducts: comparison with drip infusion CT cholangiography.	Abdom Radiol (NY). 2017 Jul;42(7):1888-1895.	Original Article
120	Nagai A, Shibamoto Y, Yoshida M, et al.	放射線科	Intensity-modulated radiotherapy using two static ports of tomotherapy for breast cancer after conservative surgery: dosimetric comparison with other treatment methods and 3-year clinical results.	J Radiat Res. 2017 Jul 1;58(4):529-536.	Original Article
121	Sakurai K, Tokumaru AM, Shimoji K, et al.	放射線科	Beyond the midbrain atrophy: wide spectrum of structural MRI finding in cases of pathologically proven progressive supranuclear palsy.	Neuroradiology. 2017 May;59(5):431-443.	Original Article
122	Sakurai K, Kanoto M, Nakagawa M, et al.	放射線科	Dinosaur Tail Sign: A Useful Spinal MRI Finding Indicative of Cerebrospinal Fluid Leakage.	Headache. 2017 Jun;57(6):917-925.	Original Article
123	Iwata H, Ishikura S, Murai T, et al.	放射線科	A phase I/II study on stereotactic body radiotherapy with real-time tumor tracking using CyberKnife based on the Monte Carlo algorithm for lung tumors.	Int J Clin Oncol. 2017 Aug;22(4):706-714.	Original Article
124	Kan H, Arai N, Kasai H, et al.	放射線科	Quantitative susceptibility mapping using principles of echo shifting with a train of observations sequence on 1.5T MRI.	Magn Reson Imaging. 2017 Oct;42:37-42	Original Article

小計7件

125	Kamishima Y, Takeuchi M, Kawai T, et al.	放射線科	A predictive diagnostic model using multiparametric MRI for differentiating uterine carcinosarcoma from carcinoma of the uterine corpus.	Jpn J Radiol. 2017 Aug;35(8):472-483.	Original Article
126	Takaoka T, Shibamoto Y, Matsuo M, et al.	放射線科	Biological effects of hydrogen peroxide administered intratumorally with or without irradiation in murine tumors.	Cancer Sci. 2017 Sep;108(9):1787-1792.	Original Article
127	Denewar FA, Takeuchi M, Urano M, et al.	放射線科	Multiparametric MRI for differentiation of borderline ovarian tumors from stage I malignant epithelial ovarian tumors using multivariate logistic regression analysis.	Eur J Radiol. 2017 Jun;91:116-123.	Original Article
128	Sawada Y, Shimohira M, Hashizume T, et al.	放射線科	Transcatheter Arterial Embolization for Renal Angiomyolipoma Using a Micro-balloon Catheter and a Mixture of Ethanol and Lipiodol.	Cardiovasc Intervent Radiol. 2017 Dec;40(12):1933-1939.	Original Article
129	Sekiguchi T, Nakagawa M, Miwa S, et al.	放射線科	Calcifying aponeurotic fibroma in a girl: MRI findings and their chronological changes.	Radiol Case Rep. 2017 May 27;12(3):620-623.	Case report
130	Miyakawa A, Shibamoto Y, Baba F, et al.	放射線科	Stereotactic body radiotherapy for stage I non-small-cell lung cancer using higher doses for larger tumors: results of the second study.	Radiat Oncol. 2017 Sep 11;12(1):152.	Original Article
131	Manabe Y, Murai T, Ogino H, et al.	放射線科	CyberKnife Stereotactic Radiosurgery and Hypofractionated Stereotactic Radiotherapy As First-line Treatments for Imaging-diagnosed Intracranial Meningiomas.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2017 Dec 15;57(12):627-633.	Original Article
132	Shimohira M, Hashizume T, Ohta K, et al.	放射線科	Unilateral pulmonary artery pre-operative occlusion test: technical feasibility and safety prior to pneumonectomy or pleuropneumectomy for malignancy.	Br J Radiol. 2018 Feb;91(1083):20160775.	Original Article

小計8件

133	Shibamoto Y, Kamei Y, Kamei K, et al.	放射線科	Continuous Low-Dose-Rate Irradiation Promotes Growth of Silkworms.	Dose Response. 2017 Oct 12;15(4):15593258177352 52.	Original Article
134	Nakajima K, Iwata H, Ogino H, et al.	放射線科	Acute toxicity of image-guided hypofractionated proton therapy for localized prostate cancer.	Int J Clin Oncol. 2018 Apr;23(2):353-360.	Original Article
135	Shimohira M, Ohta K, Suzuki K, et al.	放射線科	Newly developed triaxial microcatheter for complicated interventions.	Minim Invasive Ther Allied Technol. 2018 Feb;27(1):11-16	Others
136	Shimamura Y, Sasaki S, Shimohira M, et al.	放射線科	New technique of percutaneous CT fluoroscopy-guided marking before video-assisted thoracoscopic surgery for small lung lesions: feasibility of using a 25-gauge needle without local anaesthesia.	Br J Radiol. 2018 Feb;91(1083):20170692	Original Article
137	Ozawa Y, Suzuki R, Hara M, et al.	放射線科	Identification of the pericardiophrenic vein on CT.	Cancer Imaging. 2018 Jan 5;18(1):1.	Original Article
138	Nakagawa M, Ozawa Y, Nomura N, et al.	放射線科	Investigation of an appropriate contrast-enhanced CT protocol for young patients following the Fontan operation.	Jpn J Radiol. 2018 Mar;36(3):215-222.	Original Article
139	Mogi N, Nakagawa M, Matsumae H, et al.	放射線科	Fibrin sheath of a peripherally inserted central catheter undepicted with gray-scale (real-time B-mode) ultrasonography: A case report.	Radiol Case Rep. 2018 Mar 6;13(3):537-541.	Case report
140	Nakayama K, Shimohira M, Ohta K, et al.	放射線科	Simultaneous transarterial and transvenous coil embolization for a large aneurysmal-type renal arteriovenous fistula.	Radiol Case Rep. 2018 Jan 11;13(2):507-509.	Case report
141	Fujikake K, Sawada M, Hikita T,他	麻酔科	Detachment of chain-forming neuroblasts by Fyn-mediated control of cell-cell adhesion in the postnatal brain.	J Neurosci. 2018; 38(19):4598-609	Original Article

小計9件

142	So M, Sugiura T, Yoshizawa S, 他	麻酔科	Two Cases of Duchenne Muscular Dystrophy That Showed Different Reactions to Nerve Stimulation During Peripheral Nerve Block: A Case Report.	A A Case Rep. 2017; 9(2):52-53.	Case report
143	So M, Yoshimura S, Fujita Y, 他	麻酔科	Early Enteral Nutrition is Acceptable in Cyanotic Patients with Systemic-Pulmonary Shunt after Cardiovascular Surgery.	J Reg Anesth Intensive Care 2017;1(1):1-4.	Original Article
144	Katano H, Nishikawa Y, Yamada H 他	脳神経外科	Calcification in original plaque and restenosis following carotid artery stenting.	Surg Neurol Int. 2017 Nov 20;8:279.	Original Article
145	Katano H, Nishikawa Y, Yamada H 他	脳神経外科	Differential Expression of microRNAs in Severely Calcified Carotid Plaques.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2018 Jan;27(1):108-117	Original Article
146	Katano H, Mase M, Nishikawa Y 他	脳神経外科	Analysis of Recurrent Stenosis After Carotid Endarterectomy Featuring Primary Plaque Calcification.	Neurosurgery. 2017 Jun 1;80(6):863-870.	Original Article
147	Aihara N, Yamada H, Takahashi M 他	脳神経外科	Postoperative Headache after Undergoing Acoustic Neuroma Surgery via the Retrosigmoid Approach.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2017 Dec 15;57(12):634-640.	Original Article
148	Tanikawa M, Yamada H, Kitamura T 他	脳神経外科	Endoscopic Occipital Transtentorial Approach for Pineal Region Tumor.	Oper Neurosurg (Hagerstown). 2018 Feb 1;14(2):206-207.	Original Article
149	Shibata T, Tanikawa M, Sakata T	脳神経外科	Urgent Optic Nerve Decompression via an Endoscopic Endonasal Transsphenoidal Approach for Craniopharyngioma in a 12-Month-Old Infant: A Case Report.	Pediatr Neurosurg. 2018;53(3):182-187.	Case report
150	Suzuki A, Shinozaki J, Yazawa S, et al.	神経内科	Establishing a New Screening System for Mild Cognitive Impairment and Alzheimer's Disease with Mental Rotation Tasks that Evaluate Visuospatial Function.	J Alzheimers Dis. 2018 Jan; 61(4):1653-1665.	Original Article

小計9件

151	Madokoro Y, Sakurai K, Kato D, et al.	神経内科	Utility of T1- and T2-Weighted High-Resolution Vessel Wall Imaging for the Diagnosis and Follow Up of Isolated Posterior Inferior Cerebellar Artery Dissection with Ischemic Stroke: Report of 4 Cases and Review of the Literature.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2017 Nov;26(11):2645-2651.	Case report	
152	Ohno Y, Oomura M, Sakurai K, et al.	神経内科	Hyperdense Vessel Signs Showing Migration of a Thrombus.	Intern Med. 2017;56(4):465-466.	Case report	
153	Uchida Y, Kato D, Adachi K, et al.	神経内科	Passively acquired thyroid autoantibodies from intravenous immunoglobulin in autoimmune encephalitis: Two case reports.	J Neurol Sci. 2017 Dec 15;383:116-117.	Case report	小計4件
154	Matsuura K, Sawai H, Tanaka Y 他	消化器・代謝内科	Genome-Wide Association Study Identifies TLL1 Variant Associated With Development of Hepatocellular Carcinoma After Eradication of Hepatitis C Virus Infection.	Gastroenterology. 2017 May; 152(6):1383-1394 (Free Article)	Original Article	計154件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

計 件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 手順書の主な内容 ① 医学系研究倫理審査委員会規程 ② 医学系研究に係わる実施要綱 ③ IRB標準業務手順書 目的と適用範囲、責務、構成、委員長の選任方法、開催、成立要件、資料、調査・審議・報告事項、病院長に答申する事項、会議の運営・記録に関する事項、事務局、記録の保存	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 規定の主な内容 大学として利益相反の指針を示す「利益相反マネジメントポリシー」のもと、「利益相反マネジメント規程」及び「大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会規程」を制定し、毎年利益相反に関する自己申告書を提出し、必要に応じ適宜ヒアリングを行っている。利益相反に関する専門的事項について調査・審議するため、全学的な組織として外部専門家を含めた利益相反委員会を設置している。 なお、医学研究等にかかる利益相反に関しては、医学研究科内に大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会を設置し、臨床研究実施前の事前申告、毎年1回の定期申告に基づいて適切な管理を行っている。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年3回
<p>・ 研修の主な内容</p> <p>「臨床試験実施セミナー（12回/年）」のうち、上記に合致する内容の開催状況は以下の3回 「本学における新たな研究倫理審査体制と臨床研究申請システム」開催2017/4/26、参加：65名 「臨床研究と倫理体制」開催2017/5/31、参加：68名 「本学における新たな研究倫理審査体制と臨床研究申請システム」開催2017/8/29、参加：44名</p>	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

診療科ごとに各領域の専門医取得を目指す専門的な研修を実施している。また、診療科部長又は部長代理を研修統括者とした指導體制を整備し、目標、指導體制、診療実績、連携施設等を含めた研修プログラムをホームページで明示している。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	65.3 人
-------------	--------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
兼松 孝好	総合内科・総合診療科	部長代理	25 年	
谷田 諭史	消化器内科	部長代理	27 年	
野尻 俊輔	肝・膵臓内科	部長	28 年	
新実 彰男	呼吸器・アレルギー内科	部長	33 年	
難波 大夫	リウマチ・膠原病内科	部長	24 年	
大手 信之	循環器内科	部長	37 年	
田中 智洋	内分泌・糖尿病内科	部長	21 年	
飯田 真介	血液・腫瘍内科	部長	31 年	
松川 則之	神経内科	部長	30 年	
福田 道雄	腎臓内科	部長	27 年	
瀧口 修司	消化器・一般外科	部長	28 年	
中西 良一	呼吸器外科	部長	33 年	
三島 晃	心臓血管外科	部長	37 年	
近藤 知史	小児外科	部長	38 年	
遠山 竜也	乳腺外科	部長	29 年	
水谷 潤	整形外科	部長代理	28 年	
杉浦 真弓	産科婦人科	部長	33 年	
齋藤 伸治	小児科	部長	33 年	
小椋 祐一郎	眼科	部長	38 年	
稲垣 彰	耳鼻いんこう科	部長代理	19 年	
鳥山 和宏	形成外科	部長	29 年	
森田 明理	皮膚科	部長	29 年	
安井 孝周	泌尿器科	部長	24 年	
林 祐太郎	小児泌尿器科	部長	34 年	
明智 龍男	精神科	部長	27 年	

芝本 雄太	放射線科	部長	38 年	
祖父江 和哉	麻酔科	部長	25 年	
間瀬 光人	脳神経外科	部長	33 年	
渋谷 恭之	歯科口腔外科	部長	29 年	
和田 郁雄	リハビリテーション科	部長	40 年	
高橋 智	病理診断部	部長	28 年	
笹野 寛	救急科	部長	31 年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
別紙 1、2、3 参照
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 ①接遇講演会 ②個人情報保護研修会 ③災害研修会「病院が被災した！あなたはどうする！？」 ④コンプライアンス・ハラスメント研修 ⑤患者の権利擁護に関する研修会 ⑥災害講演会「大規模災害に対する病院診療継続計画の考え方」 ・研修の期間・実施回数 ①9月12日 ②9月13日 ③9月28日 ④10月10日 ⑤10月13日 ⑥11月6日 ・研修の参加人数 ①119人 ②319人 ③297人 ④235人 ⑤128人 ⑥216人
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
別紙 1 参照

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 小椋 祐一郎	
管理担当者氏名	事務課長 青山 賢二	

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	事務課	
		各科診療日誌	電子カルテサーバー、過去分は病歴センター	
		処方せん	電子カルテサーバー、過去分は病歴センター	
		手術記録	電子カルテサーバー、過去分は病歴センター	
		看護記録	電子カルテサーバー、過去分は病歴センター	
		検査所見記録	電子カルテサーバー、過去分は病歴センター	
		エックス線写真	電子カルテサーバー、過去分は病歴センター	
		紹介状	電子カルテサーバー、過去分は病歴センター	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	事務課	
		高度の医療の提供の実績	事務課、医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	事務課、教育研究課	
		高度の医療の研修の実績	事務課、教育研究課	
		閲覧実績	事務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	掲げる事項	規則第一條の十一第一項に	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部
			医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室
			医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室
			医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御室
	第二項	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御室
	第一号	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御室
	第三号	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御室
	第四号	医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部、医療安全管理室
	第五号	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	第六号	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	第七号	医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部、医療安全管理室
	第八号	医療機器安全管理責任者の配置状況	臨床工学室、医療安全管理室
	第九号	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学室
	第十号	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学室
第十一号	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学室、医療安全管理室	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御室
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理室
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	事務課、医事課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理室
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理室
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理室
		監査委員会の設置状況	医療安全管理室
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理室
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課 医療安全管理室
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	監査室 医療安全管理室
		職員研修の実施状況	総務課 事務課 教育研究課 中央臨床検査部 中央放射線部 薬剤部 臨床工学室 医療安全管理室 感染制御室 臨床研究開発支援センター 看護部
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	薬剤部 臨床工学室 医療安全管理室
管理者が有する権限に関する状況	総務課、財務課、事務課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	監査室、事務課		
開設者又は理事会等による病	総務課、事務課		

	院の業務の監督に係る体制の整備状況		
--	-------------------	--	--

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状	
閲覧責任者氏名	事務課長 青山 賢二		
閲覧担当者氏名	事務係長 西村 宏久		
閲覧の求めに応じる場所	事務課事務係		
閲覧の手続の概要 記録の閲覧に関する責任者、担当者及び閲覧の求めに応じる場所を定め、閲覧の求めに応じる場所の入り口に掲示をしている。閲覧の求めがあった際は、閲覧責任者の許可のもと、閲覧担当者にて諸記録の公開を行う。			

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	☑・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療機関における安全管理に関する基本的考え方 2. 安全管理委員会・その他の組織に関する基本的事項 3. 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針 4. 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6. 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 7. 患者からの相談への対応に関する基本方針 8. その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
<p>② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無（☑・無） ・ 開催状況：年 12 回 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 医療事故の調査、分析及び再発防止策に関すること なお、特定機能病院である本院管理者が定める水準以上の事象（「医療事故発生時の対応」に定める「報告すべき「医療事故」の定義」に定める事象をいう。）が発生した場合の報告が適切に実施されているかを確認し、結果を本院管理者に報告する。報告が不十分な場合は報告が適切になされるよう研修・指導等を行う。 (2) 医療に係る安全管理のための職員研修及び広報に関すること (3) 医療事故等の公表に関すること (4) その他医療に係る安全管理に関すること 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 16 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）：（別紙4参照） 新規採用者を対象に新規採用者研修会 中途採用者を対象に中途採用者研修会を年3回実施 医薬品管理研修会として麻薬講習会を年1回実施 全職員を対象とした外部講師による講演の医療事故防止講演会を年2回、重大事故事例の周知徹底を図る危機管理研修会を年1回実施 その他安全な医療技術の取得等に関する研修会としてPICC研修会等を開催 	
<p>④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備（☑・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ リスクマネジメントマニュアルの定期的な見直し（追録・修正） ・ 安全管理に関する自己点検評価報告書の策定・まとめ ・ 事故収集による分析（定量および定性分析）・対策・実施 ・ リスクマネジメントニュースの発行 ・ eラーニングの実施 ・ 院内医療安全巡視 ・ 医療安全全国共同行動参加にてワーキング活動 ・ 暴力対策の実施 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内感染対策に関する基本的考え方 患者とその家族、職員、委託職員、学生等院内すべての人々を院内感染から守るための効果的予防及び管理を実践する。手指衛生をはじめとする標準予防策、あるいは必要に応じて感染経路別予防策を追加しての実践や、抗菌薬の適正使用を推進できるよう、医療従事者全員に指導・教育を徹底する。また、最新情報に基づき現行の感染対策を常に評価し改善していく。 ・ 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ・ 院内感染発生時の対応に関する基本方針 ・ 患者等に対する該当指針の閲覧に関する基本方針 ・ 他施設職員等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染対策委員会は、院内における感染症の感染予防対策に関する次の事項について審議し、方針を決定する。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 感染防止対策マニュアルの策定及び変更 (2) 全職員を対象とした感染防止教育と啓発 (3) 各職種、各部門の予防対策に関し、必要と思われる事項 (4) 職業感染予防の策定 (5) 院内感染発生時の改善策について病院職員への周知 (6) その他管内感染に関する重要事項 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 28 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 院内感染対策講演会 <ul style="list-style-type: none"> ① 平成28年6月14日・15日 「当院における感染対策の現状と課題」 講師：中村 敦 医師（名古屋市立大学病院感染制御室） 田上由紀子 看護師（名古屋市立大学病院感染制御室） 朝岡 みなみ 薬剤師（名古屋市立大学病院 薬剤部） 近藤 周平 医師（名古屋市立大学病院 中央臨床検査部 感染制御室） ② 平成29年1月5日 「HIV/エイズへの取り組み」 講師：市川 誠一 氏（人間環境大学 大学院看護学研究科） (2) 新規採用者研修 平成28年4月5日 院内感染対策についての講義、手洗い・個人防護具着脱演習 (3) 中途採用者研修 平成28年5月～平成30年3月の1回/月 計11回 「感染予防対策」「血流感染対策と標準予防策」講義、手洗い演習 (4) その他 <ul style="list-style-type: none"> 医師事務補助者研修 平成29年4月13日、11月8日 清掃業務職員研修 平成29年9月11日、15日、27日、29日 委託業者研修 平成29年12月21日 	

(5) NCU Infection Seminar

- ① 平成29年5月10日 「知って得する結核入門」社会医療法人宏潤会大同病院 沓名健雄先生
- ② 平成29年7月12日 「輸入感染症の診断、治療と感染対策」
名古屋市立東部医療センター 長谷川千尋先生
- ③ 平成29年9月13日 「世界敗血症デーと肺血症診断」
名古屋市立大学病院医学研究科 松嶋麻子先生
- ④ 平成29年11月8日 「薬剤耐性（AMR）対策に私たちはどのように行動すべきか」
京都薬科大学 村木優一先生
- ⑤ 平成30年1月10日 「最近の細菌検査室のお仕事－院内から地域連携まで－」
三重大学医学部付属病院 中村明子先生
- ⑥ 平成30年3月14日 「やっぱり手指衛生しないとね」愛知医科大学看護学部 田村英代先生

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - ・ 感染制御室を中心とした感染対策チーム（ICT）に、微生物検出状況、現場での感染症状を呈する患者の状況が報告される。ICTは横断的活動の権限をもって、状況確認、情報収集、対策の検討をし、現場の実施に対して指導・助言をする。
 - ・ 院内の分離菌発生と薬剤感受性の把握をし、微生物ラウンドにより耐性菌等に対する診療支援や感染対策の分析・検討をしている。平成29年度の微生物ラウンドは231件行った。
 - ・ ICTにより現場のラウンドを実施（部署別ラウンド42部署、目的別ラウンド319部署）し、感染対策上の問題の早期改善に努めている。
 - ・ 抗菌薬の使用動向を監視し、適正使用に向けた診療支援を行う。平成29年度の抗菌薬ラウンドは572件行った。
 - ・ 職業感染防止策を積極的に導入・実践していくことで、職員が感染源となる感染予防対策を強化する。
 - ・ 感染に関するコンサルテーションに関して、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師が1310件に対応し、診療支援や部署の感染対策の課題につなげている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 5 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>新人看護師向け薬剤研修会（2回） 参加者</p> <p>① 平成29年4月10日（月） 8時45分～ 9時45分（病院第1会議室）</p> <p>② 平成29年4月11日（火） 8時45分～ 9時45分（病院第1会議室）</p> <p>内容：管理が必要な医薬品・与薬時の注意点・薬剤師による情報提供など（調剤担当薬剤師）</p> <p>処方カレンダー説明会（2回） 参加者</p> <p>① 平成29年6月30日（金） 17時30分～ 18時30分（病院大ホール） 参加者103名</p> <p>② 平成29年7月13日（木） 17時30分～ 18時30分（病院大ホール） 参加者66名</p> <p>医薬品安全管理講習会（1回） 参加者 213名</p> <p>平成29年7月27日（木） 18時00分～19時00分（病院大ホール）</p> <p>内容：麻薬の取扱いについて（麻薬業務担当薬剤師）</p> <p>がん疼痛における薬物療法（緩和ケア担当薬剤師）</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 （有・無）</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <p>〔1〕 医薬品の安全管理の業務内容</p> <p>1. 医薬品安全管理責任者（薬剤部長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品安全管理責任者は、医薬品の安全使用のための研修の実施、医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び手順書に基づく業務の実施、医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集を行い医薬品に関わる安全確保に努める。 <p>2. 医薬品安全管理実施担当者（医薬品情報係長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品安全管理実施担当者は、医薬品の安全使用のための業務に資する医薬品に関する情報の整理、周知及び当該周知の状況の確認、未承認等の医薬品の使用に対し、当該未承認等の医薬品の使用の状況の把握のための体系的な仕組みの構築並びに当該仕組みにより把握した未承認等の医薬品の使用の必要性等の検討の状況の確認、必要な指導及びこれらの結果共有を行う。 <p>3. 医薬品担当者（各部門の医師、看護師、薬剤師）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品担当者は、医薬品安全管理のための業務手順書に基づいて業務が確実に実施されていることを把握し、適切に行われていない場合には改善、指導を行う。 <p>〔2〕 医薬品の安全管理の項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 薬剤部の業務 2. 医薬品の採用 3. 医薬品の管理 4. 病棟・各部門への医薬品の供給 5. 外来患者への医薬品の供給 6. 入院患者への医薬品の供給 7. 入院患者への医薬品の情報提供 8. 医薬品情報の収集・管理・提供 9. 他の医療機関・調剤薬局との連携 10. 抗がん剤の管理・調製 11. 感染対策 12. 中心静脈栄養（TPN）調製 13. 入院時の持参薬 14. 危険薬 15. 処方せんの記載方法 	

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)

1. 未承認薬

医薬品情報管理係による情報収集および管理を実施している（医師からの院内製剤等の相談については、薬務製剤係が窓口となる）。周知が必要な情報については、情報誌や病院ニュース等による情報提供を行っている。また、特に重要な情報については病棟担当薬剤師（医薬品担当者）による個別情報提供を行う。

2. 適応外使用薬

医薬品情報管理係による情報収集および管理を実施している。周知が必要な情報については、情報誌や病院ニュース等による情報提供を行っている。また、特に重要な情報については病棟担当薬剤師（医薬品担当者）による個別情報提供を行う。

3. 禁忌薬

医薬品情報管理係による情報収集および管理を実施している。周知が必要な情報については、情報誌や病院ニュース等による情報提供を行っている。また、特に重要な情報については病棟担当薬剤師（医薬品担当者）による個別情報提供を行う。

4. その他の情報（添付文書の情報、関係機関等からの情報）の収集

製薬メーカー担当者から添付文書改訂情報を入手する。新薬等の場合は詳細情報収集のため当該製薬メーカーからヒアリングを実施する。医薬品医療機器総合機構HPの添付文書情報を定期的にダウンロードして電子カルテシステム上で提供している。

- ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：
滅菌墨汁 5mL：内視鏡検査時の胃・腸粘膜への点墨（術前マーキング）

- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

1. 医薬品適正使用のための注意喚起

薬事委員会において、本院で発生した有害事象についての報告および再発防止対策の周知を適宜実施している。平成29年度は6薬品につき7件の報告があり、うち5件がPMDAに報告された。

2. 院内安全性情報の活用

本院に重要と考えられる安全性情報について、安全性情報に基づく必要な対応（検査の実施・患者への説明等）について薬剤師が該当患者のカルテ上に記載して、医師に対応を求める取り組みを実施している。

3. 医療安全全国共同行動への取り組み

医療安全全国共同行動の「医薬品の誤投与防止」への取り組みに沿った改善活動として、医師・薬剤師・看護師等の多職種による検討を行い、以下の点について実施した。

◆ 重症管理病棟以外における鎮静薬の取り扱い

重症管理病棟（ICU、CCU、NICU、HCU、1F救急病棟）以外の一般病棟、内視鏡部、中央放射線部、外来処置室での鎮静剤使用に関して定めた。

対象薬：催眠鎮静薬（ミダゾラム注）、全身麻酔・鎮静用薬（プレセデックス静注、ディプリバン注、プロポフォール注）

4. 抗がん剤の管理・調製

薬剤部にてすべての抗がん剤使用レジメンの登録管理を行っている。かつ外来および入院のすべての抗がん剤使用患者の抗がん剤の調製もやっている（休日含む）。抗がん剤使用患者に対する薬学的管理（入院患者はもちろん、外来患者への説明を含む）を実践している。また陰圧アイソレーター（ケモシールド®）を使用することにより、ファシールを使用することなく揮発性の抗がん剤（エンドキサン注®等）を安全に調製できる作業環境を提供している。

5. 内服抗がん剤使用患者に対する薬剤師外来

平成27年9月より、内服抗がん剤使用開始患者を対象とした薬剤師外来を開始した。対象は「外来にて開始する内服抗がん剤処方（院内、院外処方ともに）」とし、医師からの依頼を受け薬剤師が面談を行う形式とした。平成29年度の実施件数は734件（注射抗がん剤指導が257件、内服抗がん剤件数が477件）であった。

6. 患者サポートセンターでの持参薬確認

これから入院される方への案内と入院当日の受付、入院時の持参薬確認を集約して一か所で行う「入院支援センター」を設置し、持参薬管理を目的とした薬剤師による面談を全入院予定患者で実施している。薬剤師による面談は入院時だけでなく、入院決定日にお薬手帳などの情報をもとに術前中止薬を把握することを目的とする「入院前の服用薬確認」も実施されており、これらの運用により持参薬の服用状況および術前休止薬の確認が実施されるため、院内全体での持参薬に関する情報の共有・安全管理が可能となった。

◆ 平成29年度の服用薬確認件数：入院時9253件、入院前5768件

7. リスクマネジメント関連情報の発信

院内配布のRMニュース「おくすりはなし」の項に薬物取扱・使用における安全管理の留意点を定期的（3か月に1回の割合）に継続連載して、院内医療関係者への注意喚起を実施している。

8. 薬薬連携の取り組み

薬薬連携のための地域の薬剤師会の薬剤師との検討会を定期的を実施して、疑義照会事例・新規採用薬情報・地域連携クリニック（がん地域連携パス）などについて意見交換を行っている（平成29年度は計4回実施）。また、呼吸器内科と協働して、地域の保険薬局の薬剤師を対象とした吸入指導講習会（吸入指導ネットワーク）を年2回実施している。

※第7回講習会（H29.8月：30名参加、第8回講習会（H30.3：30名参加）、合計 60名

9. 部門ごとの医薬品管理者の選定

部門ごとに医師・看護師・薬剤師の3者の医薬品管理者を選定し、医薬品適正管理（定数医薬品の見直しを含む）を実施している。さらに薬剤師の医薬品管理者からは、毎月発行の「医薬品情報誌」を用いた医師、看護師への情報提供も行っている。平成23年度からは部門における医薬品管理の問題点の収集と情報共有を目的として、医薬品管理者（医師・看護師・薬剤師）による3者ミーティングも実施している。3者ミーティングの記録内容については定期的に医薬品安全管理責任者が内容を把握している。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 319 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容：（別紙5参照） I. 新しい医療機器の導入時の在職職員に対する取扱研修。 II. 人工心肺装置、人工呼吸器、保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置等の特に安全使用に際して技術の習熟が必要と考えられる医療機器に関する在職職員に対する取扱研修。 III. 新規採用職員に対するシリンジポンプ、輸液ポンプ等の医療機器の取扱研修及び在職職員に対する随時研修。 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 （ 有・無 ） ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> I. 人工呼吸器、除細動器、保育器等のMEセンター管理機器については、使用后MEセンターに返却の都度もしくは一定の点検期間毎に、保守点検を実施している。 II. 診療用高エネルギー放射線発生装置などその他の医療機器については、業者による定期点検を実施している。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （ 有・無 ） ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> I. （i）医療機器に係る院内のインシデント・アクシデント情報、（ii）メーカーから直接寄せられるリコール情報、（iii）医薬品医療機器総合機構から発信される情報等については、医療安全管理室へ一元的に集約され、同室及び臨床工学室が中心となり各部署への情報発信及び対策を実施している。 II. 機器の安全使用の観点から、中央管理する機器については、標準化を図っている。 III. 医療機器の使用に係る医療事故の発生を防ぐことを目的として作成した医療機器使用マニュアルの適宜見直しを行った。 	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師）</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者は、医療安全管理委員会委員長として委員会を運営し、病院全体の安全管理体制の確保の徹底を図るとともに、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の業務を統括し、安全管理に関する病院全体の責務を担う。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（6名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内の医薬品使用状況の確認 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 医薬品安全管理実施責任者 ◆ 医療安全管理室にて院内での医薬品使用状況についての疑問点を把握した場合、医療安全管理室の薬剤師（主査）から医薬品安全管理実施担当者（医薬品情報係長）に報告される。 ◆ 医薬品の発注・購入を担当している業務係長は医薬品の購入状況を精査し、通常と異なる使用状況等の有無について月1回程度確認し、疑問点がある場合は医薬品安全管理実施担当者に連絡する。 ◆ 調剤を担当する薬剤師が調剤時に通常とは異なる使用状況等の疑問を持った場合、医薬品安全管理実施担当者に情報を伝える。 ◆ 医薬品担当者（各部門の医師、看護師、薬剤師）は、各部門での医薬品の使用状況に係る情報収集を行い、適宜医薬品安全管理実施担当者へ伝達を行う。 2. 各種情報の整理 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 1.で収集された情報に対して、医薬品安全管理実施担当者は報告者および医薬品担当者と協力して使用状況の詳細な把握を行う。 ◆ また、医薬品安全管理実施担当者は、緊急安全性情報・安全性速報などの安全性情報の内容を確認し、必要に応じて院内の医薬品の使用状況を把握する。 3. 医薬品安全管理責任者への報告 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 医薬品安全管理実施担当者は必要に応じて、把握した医薬品の使用状況情報について医薬品安全管理責任者（薬剤部長）に報告を行う。 ◆ 医薬品安全管理責任者はその報告をもとに、院内への情報周知・運用上の提案・オーダ時の制御などの対策を検討し実施する。 <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 処方した医薬品が未承認等に該当するか否かの把握 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 医薬品担当者は、各部門での未承認等の医薬品の使用に係る情報収集を行い、適宜医薬品安全管理実施担当者へ伝達を行う。 ◆ 調剤を担当する薬剤師が、調剤時に適応外使用等の疑問を持った場合、該当部門の医薬品担当者や医薬品安全管理実施担当者に情報を伝える。 ◆ 診療報酬審査委員会での査定情報については、病棟主査および医薬品担当者が把握し、必要に応じて医薬品安全管理実施担当者に情報を伝える。 2. リスク検討の有無、処方の妥当性等の確認 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 1.で収集された情報は必要に応じて、医薬品安全管理実施担当者は必要に応じて、把握した医薬品の使用状況情報について医薬品安全管理責任者（薬剤部長）に報告を行う。その際、国 	

内承認の有無、投与経路、診療ガイドラインへの記載の有無、文献報告のエビデンスレベルなどをもとに妥当性が検討される。

3. 処方した医師等に対し処方変更等の提案、医薬品安全管理者への報告

- ◆ 医薬品安全管理責任者は検討の内容をもとに、医師に対する確認（代替治療の有無・臨床倫理委員会への申請等）を行う。また、院内への情報周知・運用上の提案・オーダ時の制御などの対策を実施する。

・ 担当者の指名の有無（・無）

・ 担当者の所属・職種：（所属：薬剤部医薬品情報係長 ， 職種 薬剤師 ）

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況

・無

・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（・無）

・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：セーフティマネージャーで構成された医療安全全国行動ワーキンググループにおいて、診療録の確認を行う、またインシデントが発生した際、同意書及び診療録にて遵守状況を確認し、該当部門へ個別に指導している。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>実務内容は情報処理室の職員、診療情報管理士からの相談対応、システム会社との定期的な打合せ、診療記録の監査業務や各種業務提案を病院情報システム会議、及び診療情報管理委員会で行っています。様々な活動を通じ、適切な病院情報システムと診療情報管理業務の運用管理の推進に努めています。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（ 8 ）名、専任（ ）名、兼任（ 3 ）名 うち医師：専従（ 1 ）名、専任（ ）名、兼任（ 3 ）名 うち薬剤師：専従（ 1 ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち看護師：専従（ 2 ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>（1）医療安全管理委員会、セーフティーマネージャー会議等で用いられる資料及び議事録の作成、保存、その他安全管理委員会の庶務に関すること。 （2）事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。 （3）患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。 （4）事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと （5）医療安全に係る連絡調整に関すること。 （6）その他医療安全対策の推進に関すること。 ・医療安全巡視の計画・実施・評価 ・職員への安全意識の向上のための教育システム（eラーニング）の掲載・成績把握・職場への周知 ・説明・同意文書の見直しの企画・運営等 ・重大医療事故後の原因分析や再発防止策のための各部署との検討会、各関連科との連携 ・患者相談室との連携 ・患者死亡報告書の確認</p> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<p>・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 7 件）、及び許可件数（ 6 件）</p> <p>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ）</p> <p>・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ）</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>・診療科の長から申請が行われた場合において、当該申請の内容を確認するとともに、申請案件の適否等について審査をおこなう。</p>	

- ・ 審査により高難度新規医療技術の提供の適否について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を通知し、病院長へ報告する。
- ・ 高難度新規医療技術が適正な手続きに基づいて提供されていたかどうかに関し、定期的に、及び術後に患者が死亡した場合その他必要な場合には、診療録等の記載内容を確認する。
- ・ 高難度新規医療技術が適正な手続きに基づいて提供されていたかどうか、従業者の遵守状況の確認を行う。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有 ・ 無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（ 48 件）、及び許可件数（ 44 件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ ・無 ）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ・無 ）
- ・活動の主な内容：
 - ・診療科の長から申請が行われた場合において、当該申請の内容を確認するとともに、申請案件の適否等について審査を行う。
 - ・審査により未承認新規医薬品等の提供の適否について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を通知し、病院長へ報告する。
 - ・未承認新規医薬品等が適正な手続きに基づいて使用されていたかどうかに関し、定期的に、及び術後に患者が死亡した場合その他必要な場合には、診療録等の記載内容を確認すること。
 - ・未承認新規医薬品等が適正な手続きに基づいて使用されていたかどうか、従業者の遵守状況の確認を行う。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ・無 ）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ ・無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 556 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の実態及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 92 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
 - (1) 医療事故の調査、分析及び再発防止策に関すること
なお、特定機能病院である本院管理者が定める水準以上の事象（「医療事故発生時の対応」に定める「報告すべき「医療事故」の定義」に定める事象をいう。）が発生した場合の報告が適切に実施されているかを確認し、結果を本院管理者に報告する。報告が不十分な場合は報告が適切になされるよう研修・指導等を行う。
 - (2) 医療に係る安全管理のための職員研修及び広報に関すること
 - (3) 医療事故等の公表に関すること

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（ （病院名： 藤田保健衛生大学病院 ）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ （病院名： 藤田保健衛生大学病院 ）・無）
- ・技術的助言の実施状況
 - (1) 死亡報告書の記載漏れに対する対応を見直し、迅速に死亡患者の把握を行うこと。
関係部署と連携して、平成 30 年 2 月より翌日には医療安全管理室で、死亡又は死産が確認できるリストを発行できるようになり、迅速に死亡等の内容確認を行うよう改めた。

- (2) CT 読影結果及び病理検査結果のアラート漏れをなくすためのさらなる工夫が必要である。
CT 読影結果については、重要な文言を赤字表記するなどシステム改修を準備中である。
- (3) マーキングルールを院内で統一化すること。
平成 30 年 6 月より、手術部位の確認方法について統一的な運用ルールを定め、事故防止対策シートに記載し運用を開始した。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

病院内に、医療安全管理室を室長として「患者相談室」を設置し、医療内容についての心配や不安等の相談を相談員（看護師）が受けている。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況（別紙 4 参照）

新規採用者を対象に新規採用者研修会、中途採用者を対象に中途採用者研修会を年 3 回実施
医薬品管理研修会として麻薬講習会を年 1 回実施
全職員を対象とした外部講師による講演の医療事故防止講演会を年 2 回、重大事故事例の周知徹底を図る危機管理研修会を年 1 回実施
その他安全な医療技術の取得等に関する研修会として PICC 研修会等を開催
研修会に当日欠席した職員に対し、DVD 講習会の実施や e ラーニングによる教育を積極的に活用している。

(注) 前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者

- ①医療安全倫理・モラル研修会 2017（医療安全管理研修会）－院内における医療安全教育の向上－
平成 29 年 6 月 11 日（主催：国際医療リスクマネジメント学会）
- ②平成 29 年度特定機能病院管理者研修
平成 30 年 2 月 21 日～22 日（主催：公益財団法人日本医療機能評価機構）

医療安全管理責任者

- ①医療事故の調査などに関するシンポジウム
平成 29 年 7 月 1 日（主催：一般社団法人全国医学部長病院長会議（AJMC）大学病院の医療事故対策委員会、東京都医療事故調査等支援団体連絡協議会）

医薬品安全管理責任者

- ①医薬品安全管理責任者等講習会
平成 29 年 9 月 3 日（主催：一般社団法人日本病院薬剤師会）

医療機器安全管理責任者

- ①医療事故調査制度管理者・実務者セミナー
平成 29 年 12 月 14 日（主催：医療事故調査制度管理者・実務者セミナー運営事務局）

(注) 前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> 医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有している者 組織管理能力等の病院を管理運営するうえで必要な資質及び能力を有している者 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 有・<input checked="" type="checkbox"/>無 ） ・ 公表の方法：病院ホームページにて公表 https://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/section/central/anzen-kanri/externalauditor/

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>(1) 診療に関すること</p> <p>(2) 病院の規程の制定改廃に関すること</p> <p>(3) その他病院の運営に関する重要事項（運営方針、中期計画、予算及び決算等）</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>会議資料の回覧及び電子カルテ共有ファイルサーバーへの掲載を行っている。 必要があれば、個別案件ごとに関係委員会での報告や院内広報誌への掲載等も行い、周知徹底を図っている。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・公表の方法：病院ホームページにて公表 https://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/about/outline/byouinkinou/special-function/</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p>	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
小椋 祐一郎	○	医師	病院長
大手 信之		医師	副病院長
森田 明理		医師	副病院長
三島 晃		医師	副病院長
明智 龍男		医師	副病院長
飯田 真介		医師	副病院長
間瀬 光人		医師	副病院長
小黒 智恵子		看護師	副病院長
木村 和哲		薬剤師	病院長補佐
祖父江 和哉		医師	病院長補佐
新実 彰男		医師	病院長補佐
林 祐太郎		医師	病院長補佐
兼松 孝好		医師	診療科部長代理
谷田 諭史		医師	診療科部長代理
野尻 俊輔		医師	診療科部長
難波 大夫		医師	診療科部長
田中 智洋		医師	診療科部長
松川 則之		医師	診療科部長
福田 道雄		医師	診療科部長
瀧口 修司		医師	診療科部長
中西 良一		医師	診療科部長

近藤 知史		医師	診療科部長
遠山 竜也		医師	診療科部長
水谷 潤		医師	診療科部長代理
杉浦 真弓		医師	診療科部長
齋藤 伸治		医師	診療科部長
稲垣 彰		医師	診療科部長代理
鳥山 和宏		医師	診療科部長
安井 孝周		医師	診療科部長
芝本 雄太		医師	診療科部長
渋谷 恭之		歯科医師	診療科部長
笹野 寛		医師	診療科部長
服部 友紀		医師	診療科部長
松嶋 麻子		医師	診療科部長
和田 郁雄		医師	中央部門部長
田中 靖人		医師	中央部門部長
片岡 洋望		医師	中央部門部長
高橋 智		医師	中央部門部長
小松 弘和		医師	中央部門部長
中山 明峰		医師	中央部門部長
戸澤 啓一		医師	中央部門部長
中村 敦		医師	中央部門部長
神谷 武		医師	中央部門部長
杉浦 健之		医師	中央部門部長
赤津 裕康		医師	中央部門部長
山岸 庸太		医師	中央部門部長
須田 久雄		医師	中央部門部長
廣瀬 保次郎		診療放射線技師	中央部門部長
山田 隆行		事務	医学・病院管理部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（・無）
- ・ 公表の方法：病院ホームページにて公表

<https://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/section/central/anzen-kanri/externalauditor/>

- ・ 規程の主な内容

(1) 病院長の人事権について

病院幹部の選任について副病院長等、看護部長、診療科部長等の選考規程を制定し、各規程に基づいて選任している。開設者が公立大学法人である当院におきましては、人事における任命権については、法人の長たる理事長が有しているが、病院長は選考の過程で関与する仕組みとなっており、病院長の意思が反映されている。

(2) 病院長の予算執行に係る権限について

規定により、病院の予算責任者である病院長が予算に基づき執行することとされている。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

(1) 副病院長及び病院長補佐

大手 信之副病院長（戦略企画・経営管理担当）

森田 明理副病院長（診療・医療体制強化担当）

三島 晃 副病院長（安全管理担当）

明智 龍男副病院長（教育担当）

飯田 真介副病院長（研究担当）

間瀬 光人副病院長（救急・災害医療担当）

小黒智恵子副病院長（経営・業務管理担当）

木村 和哲病院長補佐（保険診療（薬剤）担当）

祖父江和哉病院長補佐（周術期管理体制強化担当）

新実 彰男病院長補佐（診療情報管理担当）

林 祐太郎病院長補佐（卒前・卒後教育担当）

(2) 各副病院長及び病院長補佐を補佐する企画スタッフ等

戦略企画室（収益向上策、費用削減策の企画立案等）

(3) 外部有識者からの意見聴取の機会

経営協議会（病院経営に見識のある外部有識者を含めた
診療収入の確保及び経費の節減策など病院の経営改善会議）

・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

研修開催日	研修名称	参加者	備考（主催）
2017/9/29	平成29年度第1回病院経営管理研修会	病院長・事務課長	一般社団法人日本病院会
2018/2/23	平成29年度第2回病院経営管理研修会	副病院長・管理部長	〃
2018/2/21-22	平成29年度特定機能病院管理者研修	病院長	公益財団法人日本医療機能評価機構
2017/9/7-8	LEMS（リーディング・エッジ・マネジメント・セミナー）	教育研究課長 医事課長 中放射線部技師長 リハビリテーション部技師長 看護部副看護部長	株式会社ビジネスコンサルタント
2017/8/24-25	第7回国立大学附属病院契約実務担当者ワークショップ	契約実務担当事務職員2名	国立大学附属病院長会議
2017/10/26-27	平成29年度国立大学病院医事関連スタッフセミナー	医事系事務職員1名	〃
2017/10/31-11/1	第11回国立大学附属病院若手職員勉強会	若手事務職員2名	〃
2017/11/9-10	第8回国立大学附属病院係長クラス勉強会	係長クラス事務職員2名	〃
2017/11/20-23	平成29年度国立大学病院医事系事務職員初期研修会	医事系事務職員1名	〃

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医療安全に係る会議の運営状況 2 インシデント・アクシデントレポートの報告及び対応状況 3 医薬品安全管理・医療機器安全管理の実施状況 4 医療安全に係る研修の実施状況 5 医療監視等における監督官庁からの医療安全に係る指摘事項への対応状況 6 他の特定機能病院による立入検査の実施及び対応状況 7 その他、医療安全に関すること <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（有・<input checked="" type="checkbox"/>無）</p> <p>・ 公表の方法：病院ホームページにて公表 https://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/section/central/anzen-kanri/externalauditor/</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
中村 勝己	後藤・太田・立岡法律事務所 所属弁護士	○	法律に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
宮本 忠壽	知多厚生病院 名誉院長		医療安全に関する業務に従事した経験を持つ医師	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
小島 一彦	元中日新聞編集委員		医療を受ける者の立場から意見を述べることができる者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2
岩崎 良平	日本ガイシ株式会社取締役 専務執行役員		医療を受ける者の立場から意見を述べることができる者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

「公立大学法人名古屋市立大学の組織等に関する規程」に基づき、法人の監査を分掌する組織として監査室を設置している。

法人では、監事監査・内部監査を始めとして、会計監査人監査、名古屋市包括外部監査人による包括外部監査、名古屋市監査委員による出資団体監査など、さまざまな監事及び外部有識者等による監査を受けている。

・ 専門部署の設置の有無 (・ 無)

・ 内部規程の整備の有無 (・ 無)

・ 内部規程の公表の有無 (・ 無)

・ 公表の方法：病院のホームページにて公表

<https://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/about/outline/byouinkinou/special-function/>

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 <p>理事長、副理事長及び理事（内2名外部理事）をもって構成される役員会において、次の事項の審議を行うこととされている。病院長も理事として、役員会に参加し、病院の管理運営状況について随時報告聴取が行われている。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 中期目標についての意見（地方独立行政法人法第78条第3項の規定により市長に対し述べる意見をいう。）及び年度計画に関する事項 (2) 地方独立行政法人法により市長の認可又は承認を受けなければならない事項 (3) 予算の作成及び執行並びに決算に関する事項 (4) 大学、学部、学科その他の重要な組織の設置又は廃止に関する事項 (5) その他役員会が定める重要事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議体の実施状況（年 12 回） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="checkbox"/>・無）（年 9 回） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無） ・ 公表の方法：大学ホームページにて公開している。 http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/index.html 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 通報件数 (年 0 件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 周知の方法 電子カルテ及びリスクマネジメントマニュアルへ掲載し、周知している。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 評価を行った機関名：公益財団法人 日本医療機能評価機構 評価を受けた時期：2013年8月2日 (初回認定：2008年2月18日) 備考：認定第JC1440-2号 一般病院2 機能種別版評価項目3rdG：Ver.1.0	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 【病院ウェブサイト等】 ○病院ウェブサイトや外来で放映している映像情報端末メディネットに、当院のご案内、最新のお知らせ、患者・一般向け、医療関係者向けの情報を掲載している。 【院外広報紙】 ○広報紙「さくらほっとNEWS」を年4回発行し、当院の最新情報やお知らせを患者や地域の住民向けに発信している。広報誌は病院ウェブサイトにも掲載、また、院内の外来に設置したり、また院外（近隣病院、地下鉄桜通線桜本町管区駅構内、市内区役所等）に配布している。 【公開講座等】 ○疾患に対する理解を深めるため「患者情報ライブラリーセミナー」（年6回程度）や、「さくらやま知っとこ！セミナー」（年3回程度）、本学主催による市民公開講座（不定期）、「看護の日フェア」におけるミニ講演会など患者や一般市民向けに開催している。 ○国際福祉健康産業展「ウェルフェア」の開催に伴う併催行事として「ウェルフェア健康大学」などの講演会を行い、当院の医師が講師となってそれぞれの専門分野について新しい情報を織り交ぜながら医療に関する情報を提供している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>○診療にあたる際、必要に応じて複数の診療科による合同のカンファレンスを実施している。</p> <p>○全診療科の代表者を含む各種委員会を定期的開催している。</p> <p>○複数の診療科によって組織する「センター」機能を有し、診療科ごとの特性を融合することにより、特色となる診療を実施したり、診療の支援業務や教育・研究業務などを行っている。</p> <p>○医療安全、感染、栄養サポート（NST）、褥瘡等に対して複数の診療科、職種を交えてチームを組み、対策を行っている。</p> <p>○診療連携拠点病院（肝疾患、地域がん）として都道府県における診療ネットワークの中心的な役割を果たす病院である。また、災害拠点病院として地域における災害医療を担っている。</p> <p>○救命救急センターとして24時間高度な医療が提供できるよう、全診療科及び全部門が連携して救急医療のバックアップ体制を整えている。夜間・休日においても、医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、検査技師が待機しており、常時迅速な引継が可能である。</p>	

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

別紙1

	対象職種	研修の名称	研修の主な内容	研修の期間 (開催日)	実施回数 (合計)	参加人数	
① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況	看護師	・別紙2 平成29年度 看護部キャリア支援のとおり		2017年10月10日～11月21日	4回	31人	
		・人工呼吸器 V-60研修		2017年6月7日～23日	11回	77人	
		・静脈注射指導者研修		2017年12月14日～19日			
		・体験してみよう！口腔ケアの基本		口腔アセスメント (ROAG)ができる	2017年7月7日	1回	35人
		・摂食嚥下障害患者と嚥下食		嚥下食の特徴を知り、安全な食事介助ができる	2017年10月11日	1回	39人
		・災害時の看護師の役割と院内の医療体制		災害発生時の部署で起こりうる問題を理解する	2017年8月22日	1回	18人
		・褥瘡予防対策に必要なスキンケアの知識		皮膚の構造、スキンケアの必要性が理解できる	2017年9月26日	1回	23人
		・呼吸器装着患者さんの看護ケア		アラーム発生時のフィジカルアセスメント	2017年10月30日、11月27日	2回	22人
		・がん看護総合～リンパ浮腫～		リンパ浮腫患者の日常生活指導	2018年1月29日	1回	7人
		・高齢者看護		地域包括ケアにおける大学病院の高齢者看護	2018年2月1日、3月1日	2回	22人
	・災害2次トリアージ (PAT法) の演習		災害発生時の院内体制を理解し、自部署の役割を理解する	2018年2月19日	1回	5人	
	診療放射線技師	・高度管理医療機器研修会	高度管理医療機器である高エネルギーX線発生装置 (リニアック・トモセラピー・Radixact) と密封小線源放射線治療装置 (RALS) における装置の特徴・安全使用及び故障や緊急時の対応	2017年4月26日、10月30日	2回	44人 45人	
	臨床検査技師	・別紙3 平成29年度研修一覧のとおり					
	薬剤師	・新規採用薬説明会		2017年6月22日 2017年10月5日 2018年1月10日	3回	27人 25人 30人	
薬剤師	・症例検討会	薬剤師が病棟業務において関わった症例についての振り返りを行い、問題点や今後の対応のための気づき等を共有する。	2017年4月20日 2017年5月18日 2017年6月15日 2017年7月28日 2017年9月21日 2017年10月19日 2017年12月21日 2018年1月18日 2018年2月15日 2018年3月15日	10回		24人 26人 31人 21人 23人 18人 20人 27人 16人 17人	
薬剤師、看護師	・小児科での病棟業務に関する勉強会		2018年1月25日 2018年2月9日 2018年3月13日		3回	42人 32人 24人	
薬剤師、看護師	・新時代のがん免疫療法	専門医によるがん免疫療法についての講演会	2017年12月4日	1回	30人		
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況	薬局薬剤師	・吸入指導ネットワーク講習会	地域の薬局薬剤師を対象に吸入指導のスキル向上を目的とした講習会	2017年8月20日 2018年3月11日	2回	30人 30人	
	他院医師、診療放射線技師	・高精度放射線治療技術		2017年12月20日 2018年2月13日		2回	2名 3名
	医師、歯科医師、薬剤師、看護師、理学療法士、医療事務など	・名市大連携病院合同化学療法勉強会	がん専門医療者の育成を目的とした勉強会	2017年6月21日	7回	189人	
				2017年7月19日		144人	
				2017年8月16日		119人	
				2017年9月20日		120人	
				2017年10月18日		139人	
2017年11月15日	100人						
2017年12月20日	96人						

平成29年度 看護部キャリア支援

No.	開催月	現行認定済 ラダーレベル	研修名	日程			参加人数	備考
1		Ⅲ	静脈注射指導者	6/7(水)	6/8(木)	6/9(金)	77人	合計募集人員60名まで
3				6/16(金)	6/23(金)			
4		I	安全管理Ⅱ	6/15(木)			120人	AM・PM実施
5		Ⅱ	リーダーⅢ	6/19(月)			10人	
		管理	主任	6/29(木)			37人	AM・PM実施
6	7月	管理	師長研修	7/5(水)			28人	
7		I	マネジメントⅠ	7/6(木)			52人	
8		Ⅱ	リーダーⅡ	7/20(木)			31人	
9		I	プリセプターフォローアップ	7/28(金)	7/31(月)		93人	
10	8月		ナースエイド①	8/22(火)	8/24(木)		54人	BLS 2日間で4回実施
11		I	倫理Ⅱ	8/25(金)			97人	AM・PM実施
12		I	コーチング	8/29(火)			37人	募集人員:50名まで
13		I	人材育成Ⅰ	8/31(木)			58人	AM・PM実施
14	9月	I	フィジカルアセスメントⅢ	9/4(月)	10/16(金)		60人	AM・PM実施 合計募集人員:120名まで
15		Ⅱ	人材育成Ⅱ	9/7(木)			22人	
16		Ⅱ	倫理Ⅲ	9/15(金)			34人	
17		I	事例検討(9月グループワーク)	9/21(木)			16人	
18		Ⅱ	問題解決Ⅰ-①	9/22(金)			33人	募集人員:60名まで
19			契約・パート職員	9/28(木)	10/2(月)	10/13(金)	24人	AM・PM実施 ①10:00~11:30 ②13:30~15:00
20		Ⅱ	プリセプターエイドフォローアップ	9/29(金)			34人	
21	10月	Ⅱ	ファシリテーション(実践)	10/1(日)			24人	募集人員:30名まで
22		I	フィジカルアセスメントⅣ	10/17(火)			53人	AM・PM実施 合計募集人員:50名まで
23		I	事例検討(10月グループワーク)	10/19(木)			19人	
24		I	安全管理Ⅱ(発表会)	10/31(火)			120人	AM・PM実施
25		I	静脈注射Ⅱ				126人	部署内研修
26	11月~ 1月	I	他部署				43人	研修生毎に個別開催
27		Ⅱ	他職種				8人	研修生毎に個別開催
28	11月	I	リーダーⅠ	11/2(木)			116人	AM・PM実施
29		Ⅱ	臨地実習指導者	11/6(月)			25人	
30		I	カンファレンスの進め方	11/10(金)			93人	
31			ナースエイド②	11/13(月)	11/16(木)		54人	1日3回実施
32		Ⅱ	安全管理Ⅲ	11/17(金)			70人	AM・PM実施
33		I	事例検討(11月グループワーク)	11/20(月)			19人	
34	12月	Ⅱ	問題解決Ⅰ-②	12/4(月)			33人	問題解決Ⅰ-①の参加者に限る
35		Ⅲ	交渉術	12/7(木)			50人	
36		Ⅱ	フィジカルアセスメントⅤ	12/11(月)			18人	募集人員:25名まで
37		Ⅱ	家族支援	12/15(金)			37人	
38		Ⅲ	静脈注射指導者	12/14(木)	12/18(月)	12/19(火)	46人	
39		I	事例検討(12月グループワーク)	12/21(木)			20人	
40	1月	Ⅲ	マネジメントⅡ(看護の質評価)	1/12(金)			20人	
41		I	意思決定支援Ⅰ	1/18(木)			60人	
42		I	コミュニケーション	1/26(金)			82人	募集人員:50名まで
43		Ⅱ	教育担当者	1/30(火)			29人	
44	2月	管理	主任(報告会)	2/3(土)			37人	
45		I	実地指導者	2/5(月)			75人	AM・PM実施
46		I	看護を語る	2/8(木)			28人	
47			看護研究会	2/16(金)	2/17(土)		487人	
48			ナースエイド③	2/22(木)	2/26(月)		51人	1日3回実施
49		Ⅱ	問題解決Ⅰ-③	2/23(金)			33人	問題解決Ⅰ-①②の参加者に限る
50	3月	I	ファシリテーション(基礎)	3/4(日)			37人	募集人員:30名まで
51		新人	フィジカルアセスメントⅡ	3/2(金)	3/5(月)	3/6(火)	103人	合計4回実施
52		Ⅱ	意思決定支援Ⅱ	3/9(金)			45人	募集人員:30名まで

平成29年度 臨床検査技師研修一覧

別紙3

	担当	内容	参加人数
4月17日(月)	企業及び担当係長	AED講習会	36
5月18日(木)	主幹	ISO15189集合教育	33
6月15日(木)	生理	9月からの超音波検査について	30
7月20日(木)	血液	髄液細胞数検査について	16
8月17日(木)	輸血・検体	T&S、予備交差適合試験について 宿日直中の預かり検体について	25
9月21日(木)	病理	PD-L1検査について	19
10月19日(木)	一般	RFIDを利用した検体管理システム(テクノメディカ)	16
11月16日(木)	微生物	質量分析計の導入による効果について	26
12月14日(木)	東大研修 技師	H29年度国公立大学病院医療技術関係職員研修報告	15
1月18日(木)	教員 担当医師	c型肝炎ウイルス感染による腸内細菌叢異常(dysbiosis)	24
3月1日(木)	新規採用者	技師2名へ	30
	日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会リハーサル	技師3名へ	
3月22日(木)	新規採用者(生理2、微生物1)	技師2名へ	31
	技師長	インシデントレポートの分析について	

平成29年度 安全管理の体制確保のための職員研修の実績

年月日	研修会名等	参加者数	内容
H29. 4. 1	新規採用者研修会	282名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院長訓示・講話 ・ 医療倫理について ・ 医療の安全対策について ・ 災害対策について ・ 医薬品安全管理について ・ 病院経営について ・ 保険診療と診療録の記載について ・ 個人情報の保護について ・ B L S 講習
H29. 4. 2			<ul style="list-style-type: none"> ・ 接遇について ・ 利益相反マネジメントについて ・ 病院・部署紹介等 ・ 院内感染対策について
H29. 4. 14	医師事務作業補助者研修	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故防止の基本的な考え方 ・ 名古屋市立大学病院の医療安全対策と具体的な対応
H29. 5. 23	パワー P I C C 説明会	170名	・ パワー P I C C 説明会
H29. 5. 25		166名	
H29. 5. 31		93名	
H29. 6. 2		100名	
H29. 6. 20	処方カレンダー説明会	128名	・ 処方カレンダーの運用について
H29. 7. 13		93名	
H29. 7. 20	中途採用者研修会	49名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理について (戸澤室長) ・ レポート報告について (水野主幹)
H29. 7. 27	医薬品安全管理研修会	213名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 麻薬の取り扱いについて ・ がん疼痛における薬物療法－麻薬編－
H29. 8. 28	臨時危機管理研修会	821名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報を含む書類の取り扱いについて (小椋病院長、三島副病院長)
(H29. 9. 29)		(664名)	
(H29. 10. 4)			
(H29. 9. 29)			
(H29. 10. 4)			
(H29. 9. 29)			
(H29. 10. 4)			
(DVD閲覧)	(68名)		
H29. 9. 25	第一回 医療事故防止講演会	667名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故後の患者さん・ご家族への情報開示対話 講師：京都大学医学部附属病院医療安全管理室長 松村 由美氏
(H29. 9. 29)		(108名)	
(H29. 10. 4)			
H29. 11. 6	第1回PICC院内講習会	6名	・ PICCの挿入方法について (講義・演習)
H29. 10. 26	中途採用者研修会	21名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理について (戸澤室長) ・ レポート報告について (水野主幹)
H29. 11. 6	医師事務作業補助者研修	4名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故防止の基本的な考え方 ・ 名古屋市立大学病院の医療安全対策と具体的な対応
H30. 1. 10	医療安全管理研修	10名	・ 医療安全管理について (戸澤室長)
H30. 1. 10	第2回PICC院内講習会	3名	・ PICCの挿入方法について (講義・演習)
H30. 1. 18	中途採用者研修会	25名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理について (戸澤室長) ・ レポート報告について (水野主幹)
H30. 2. 8	第二回 医療事故防止講演会	645名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療メディエーションの概要と実践 講師：国立がん研究センター中央病院医療安全管理部 患者医療対話推進室長 依田 明久氏
(H30. 2. 9)		(167名)	
(H30. 2. 21)			
H30. 3. 9	第一回 危機管理研修会	667名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医の倫理、28年度省令改正概要 (戸澤室長) ・ 重大事例報告 (三島副病院長) ・ 医療安全全国共同行動WG活動報告
(H29. 9. 29)		(108名)	
(H29. 10. 4)			
合計	16回	5281名	

注) () は、DVD講習会開催日及び受講人数

① 新しい医療機器の導入時の研修

No	開催年月日	研修の内容・対象機器	研修方法	対象職種	参加者数	備考
(例)	2009/6/1 2009/6/3	人工呼吸器の取り扱い方	講義、講義映像の視聴	看護師	100	
1	2017/4/3	ハイブリッド用 手術台	講義・実技	医師・看護師	24	中央手術部
2	2017/4/3	手術台 MOT-5701	講義・実技	医師・看護師	50	中央手術部
3	2017/4/3	4K、2K 内視鏡システム	講義・実技	医師・看護師	50	中央手術部
4	2017/4/3	RO装置	講義・実技	臨床工学技士	6	臨床工学室
5	2017/4/3	手術台 マグナス	講義・実技	診療放射線技師	3	中央放射線部
6	2017/4/3	移動型デジタルX線撮影装置 MobleDiagnost wDR	講義・実技	診療放射線技師	39	中央放射線部
7	2017/4/3	X線システム Allura Clarity FD20 OR	講義・実技	診療放射線技師	1	中央放射線部
8	2017/4/4	熱希釈心拍出量計 ビジランス	講義・実技	臨床工学技士	6	臨床工学室
9	2017/4/4	動脈圧心拍出量計 EV1000 クリティカルケアモニター	講義・実技	臨床工学技士	6	臨床工学室
10	2017/4/4	手術台 MOT-5701	講義・実技	医師・看護師・臨床工学技士	23	中央手術部
11	2017/4/4	術野映像システム	講義・実技	医師・看護師・臨床工学技士	18	中央手術部
12	2017/4/4	4K、2K 内視鏡システム	講義・実技	医師・看護師・臨床工学技士	18	中央手術部
13	2017/4/4	Biojet	講義・実技	医師・看護師・臨床工学技士	22	中央手術部
14	2017/4/4	無影灯 シーリングペンダント	講義・実技	医師・看護師・臨床工学技士	16	中央手術部
15	2017/4/4	ハイブリッド用 手術台	講義・実技	医師・看護師・臨床工学技士	11	中央手術部
16	2017/4/4	X線システム Allura Clarity FD20 OR	講義・実技	診療放射線技師	1	中央放射線部
17	2017/4/5	無影灯 シーリングペンダント	講義・実技	医師・看護師	3	中央手術部

① 新しい医療機器の導入時の研修

18	2017/4/5	ハイブリッド用 手術台	講義・実技	看護師	1	中央手術部
19	2017/4/5	4K、2K 内視鏡システム	講義・実技	医師・看護師	6	中央手術部
20	2017/4/5	X線システム Allura Clarity FD20 OR	講義・実技	診療放射線技師	1	中央放射線部
21	2017/4/6	無影灯 シーリングペンダント	講義・実技	臨床工学技士	4	臨床工学室
22	2017/4/6	加温装置 ブランケットロールⅢ	講義・実技	医師・看護師・臨床工学技士	8	中央手術部
23	2017/4/6	赤外線酸素モニタ装置 NIRO200-NX	講義・実技	看護師・臨床工学技士	6	中央手術部
24	2017/4/6	麻酔器 ペルセウス A500	講義・実技	臨床工学技士	4	臨床工学室
25	2017/4/6	超音波診断装置 EpiQ7	講義・実技	臨床工学技士	3	臨床工学室
26	2017/4/6	術野映像システム	講義・実技	医師・看護師・臨床工学技士	9	中央手術部
27	2017/4/6	無影灯 シーリングペンダント	講義・実技	医師・看護師	4	中央手術部
28	2017/4/6	4K、2K 内視鏡システム	講義・実技	医師・看護師・臨床工学技士	8	中央手術部
29	2017/4/7	超音波診断装置 EpiQ7	講義・実技	看護師・臨床工学技士	8	中央手術部
30	2017/4/7	赤外線酸素モニタ装置 NIRO200-NX	講義	看護師・臨床工学技士	7	中央手術部
31	2017/4/7	加温装置 ブランケットロールⅢ	講義・実技	看護師・臨床工学技士	9	中央手術部
32	2017/4/7	麻酔器 ペルセウス A500	講義・実技	看護師・臨床工学技士	3	中央手術部
33	2017/4/7	無影灯 シーリングペンダント	講義・実技	医師・看護師・臨床工学技士	6	中央手術部
34	2017/4/7	4K、2K内視鏡システム	講義・実技	医師・看護師・臨床工学技士	18	中央手術部
35	2017/4/7	術野映像システム	講義・実技	医師・看護師・臨床工学技士	15	中央手術部
36	2017/4/7	超音波診断装置 EpiQ7	講義・実技	医師	10	麻酔科
37	2017/4/7	超音波診断装置 EpiQ7	講義・実技	看護師・臨床工学技士	8	中央手術部

① 新しい医療機器の導入時の研修

38	2017/4/10	無影灯 シーリングペンダント	講義・実技	看護師	1	中央手術部
39	2017/4/10	4K、2K内視鏡システム	講義・実技	看護師	2	中央手術部
40	2017/4/10	術野映像システム	講義・実技	看護師	2	中央手術部

41	2017/4/10	ハイブリッド用 手術台	講義・実技	看護師	5	中央手術部
42	2017/4/20	ハイブリッド用 手術台	講義・実技	看護師	5	中央手術部
43	2017/4/24	手術台 MOT-5701	講義・実技	看護師	6	中央手術部
44	2017/4/25	手術台 MOT-5701	講義・実技	看護師	2	中央手術部
45	2017/4/26	手術台 MOT-5701	講義・実技	看護師	4	中央手術部
46	2017/4/26	神経機能検査装置	講義・実技	医師	9	脳神経外科
47	2017/4/26	自動血圧計 MPV-5500	講義・実技	医師・臨床検査技師	10	中央臨床検査部
48	2017/5/1	12誘導心電計 ECG-2450	講義・実技	看護師	5	14階北病棟
49	2017/5/1	ポリグラフ RMC-5000	講義・実技	臨床工学技士	2	臨床工学室
50	2017/5/2	ポリグラフ RMC-5000	講義・実技	臨床工学技士	2	臨床工学室
51	2017/5/22	採尿蓄量比重測定装置 ウローミニプロ5300	講義・実技	看護師	7	17階北病棟
52	2017/5/22	採尿蓄量比重測定装置 ウローミニプロ5300	講義・実技	看護師	9	17階南病棟
53	2017/5/22	採尿蓄量比重測定装置 ウローミニプロ5300	講義・実技	看護師	13	16階南病棟
54	2017/5/23	採尿蓄量比重測定装置 ウローミニプロ5300	講義・実技	看護師	14	14階北病棟
55	2017/5/23	採尿蓄量比重測定装置 ウローミニプロ5300	講義・実技	看護師	14	14階南病棟
56	2017/5/23	採尿蓄量比重測定装置 ウローミニプロ5300	講義・実技	看護師	6	13階北病棟
57	2017/5/23	採尿蓄量比重測定装置 ウローミニプロ5300	講義・実技	看護師	1	10階南病棟

① 新しい医療機器の導入時の研修

58	2017/5/23	採尿蓄量比重測定装置 ウローミニプロ5300	講義・実技	看護師	12	15階北病棟
59	2017/5/23	麻酔器 GE CaveStation	講義・実技	看護師	26	中央手術部
60	2017/5/24	採尿蓄量比重測定装置 ウローミニプロ5300	講義・実技	看護師	12	13階南病棟
61	2017/5/24	採尿蓄量比重測定装置 ウローミニプロ5300	講義・実技	看護師	1	9階南病棟
62	2017/5/24	採尿蓄量比重測定装置 ウローミニプロ5300	講義・実技	看護師	1	11階北病棟
63	2017/5/24	採尿蓄量比重測定装置 ウローミニプロ5300	講義・実技	看護師	3	12階南病棟
64	2017/5/24	採尿蓄量比重測定装置 ウローミニプロ5300	講義・実技	看護師	12	12階北病棟
65	2017/5/24	麻酔器 GE CaveStation	講義・実技	看護師	13	中央手術部
66	2017/5/25	麻酔器 GE CaveStation	講義・実技	看護師	4	中央手術部
67	2017/5/25	採尿蓄量比重測定装置 ウローミニプロ5300	講義・実技	臨床工学技士・委託職員	5	MEセンター
68	2017/5/25	採尿蓄量比重測定装置 ウローミニプロ5300	講義・実技	看護師	10	7階北病棟
69	2017/5/25	採尿蓄量比重測定装置 ウローミニプロ5300	講義・実技	看護師	2	8階北病棟
70	2017/5/25	採尿蓄量比重測定装置 ウローミニプロ5300	講義・実技	看護師	1	8階南病棟
71	2017/7/6	ガス式肺人工蘇生器 レサシフロー	講義・実技	看護師	13	8階北病棟
72	2017/7/13	ポータブル歯科用X線装置 Portable Dental X-ray System Port-XⅢ	講義・実技	医師・看護師	25	口腔外科
73	2017/7/18	ガス式肺人工蘇生器 レサシフロー	講義・実技	看護師	5	8階北病棟
74	2017/8/22	採尿蓄量比重測定装置 ウローミニプロ5300	講義・実技	看護師	9	8階北病棟
75	2017/8/31	採尿蓄量比重測定装置 ウローミニプロ5300	講義・実技	看護師	9	8階北病棟
76	2017/9/12	超音波診断装置 TUS-AI800 Aplio i800	講義・実技	医師・臨床検査技師	14	中央臨床検査部
77	2017/9/13	加温加湿器 PMH1000PLUS	講義・実技	臨床工学技士・委託職員	5	MEセンター

① 新しい医療機器の導入時の研修

78	2017/9/13	超音波診断装置 PHILIPS EPIQ7G	講義・実技	医師・臨床検査技師	10	中央臨床検査部
79	2017/9/14	超音波診断装置 Vivid E95	講義・実技	医師・臨床検査技師	8	中央臨床検査部
80	2017/9/27	高エネルギーX線発生装置 Radixact	講義	診療放射線技師	3	中央放射線部
81	2017/9/28	高エネルギーX線発生装置 Radixact	講義	診療放射線技師	5	中央放射線部
82	2017/9/29	高エネルギーX線発生装置 Radixact	講義	診療放射線技師	5	中央放射線部
83	2017/10/12	12誘導心電計 ECG-2450	講義・実技	看護師	9	14階北病棟
84	2017/10/19	超音波診断装置 F37	講義・実技	医師・診療放射線技師	5	中央放射線部

85	2017/10/31	画像診断装置用頭部固定具 Collateral RAS-500	講義・実技	診療放射線技師	30	中央放射線部
86	2017/11/2	画像診断装置用頭部固定具 Collateral RAS-500	講義・実技	診療放射線技師	25	中央放射線部
87	2017/11/13	電気水圧結石破砕装置 リソトロン EL-27	講義・実技	医師	10	肝・膵内科
88	2017/12/4	緊急時ブラッドアクセス留置用カテーテル パワートリアライシス	講義・実技	臨床工学技士	5	臨床工学室
89	2017/12/5	手術用ロボット手術ユニット da Vinci Xi サージカルシステム	講義・実技	医師	4	泌尿器科
90	2017/12/6	シリンジポンプ SP-520	講義・実技	看護師	5	ICUGCU
91	2017/12/8	シリンジポンプ SP-520	講義・実技	看護師	18	ICUGCU
92	2017/12/8	手術用ロボット手術ユニット da Vinci Xi サージカルシステム	講義・実技	医師	6	泌尿器科・消化器科
93	2017/12/12	シリンジポンプ SP-520	講義・実技	看護師	4	ICUGCU
94	2017/12/15	手術用ロボット手術ユニット da Vinci Xi サージカルシステム	講義・実技	臨床工学士	8	臨床工学係
95	2017/12/15	ダインチ用ベッド Tru System 7000dv	講義・実技	臨床工学士	8	臨床工学係
96	2017/12/15	シリンジポンプ SP-520	講義・実技	看護師	5	ICUGCU
97	2017/12/15	シリンジポンプ SP-520	講義・実技	臨床工学技士・委託職員	10	臨床工学室

① 新しい医療機器の導入時の研修

98	2017/12/19	手術用ロボット手術ユニット da Vinci Xi サージカルシステム	講義・実技	医師	4	中央手術部
99	2017/12/19	12誘導心電計 ECG-2450	講義・実技	看護師・臨床工学技士・委託職員	52	関連部署
100	2017/12/20	12誘導心電計 ECG-2450	講義・実技	看護師・委託職員	36	関連部署
101	2017/12/20	手術用ロボット手術ユニット da Vinci Xi サージカルシステム	講義・実技	看護師	19	中央手術部
102	2017/12/21	12誘導心電計 ECG-2450	講義・実技	看護師・委託職員	40	関連部署
103	2017/12/22	X線透視診断装置 Ultimax-1 DREX-UI80 KXO-80Z	講義・実技	放射線技師	17	内視鏡センター
104	2017/12/22	手術用ロボット手術ユニット da Vinci Xi サージカルシステム	講義・実技	医師・看護師	27	中央手術部
105	2017/12/26	手術用ロボット手術ユニット da Vinci Xi サージカルシステム	講義・実技	医師・看護師	13	中央手術部
106	2018/1/15	シリンジポンプ SP-520	講義・実技	看護師	10	NICU
107	2018/1/18	シリンジポンプ SP-520	講義・実技	看護師	10	NICU
108	2018/1/22	シリンジポンプ SP-520	講義・実技	看護師	9	NICU
109	2018/1/25	シリンジポンプ SP-520	講義・実技	看護師	7	NICU
110	2018/2/8	膀胱用超音波画像診断装置 リリアム α-200	講義・実技	医師・看護師	14	脳神経外科・13北病棟
111	2018/3/6	開放型保育器 インファントウォーマー	講義・実技	医師・看護師	3	8北病棟
112	2018/3/16	高周波手術装置 電気メス erbe VIO3	講義・実技	臨床工学技士・看護師	25	中央手術部
113	2018/3/16	高周波手術装置 電気メス Stryker MALIS	講義・実技	臨床工学技士・看護師	25	中央手術部
114	2018/3/22	経腸栄養用輸液ポンプ カンガルーJoeyポンプ	講義・実技	臨床工学技士・委託職員	5	MEセンター
115	2018/3/22	X線透視診断装置 Ultimax-1 DREX-UI80 KXO-80Z	講義・実技	医師・放射線技師	26	内視鏡センター
116	2018/3/27	経腸栄養用輸液ポンプ カンガルーJoeyポンプ	講義・実技	臨床工学技士・委託職員	6	MEセンター
117	2018/3/27	電気メス VIO3	講義・実技	臨床工学技士	5	MEセンター

① 新しい医療機器の導入時の研修

118	2018/4/2	生体情報モニター	講義・実技	看護師	6	内視鏡センター
119	2018/4/3	全自動血球計数器 セルタック MEK6500	講義・実技	看護師・臨床工学技士	4	中央手術部

② 特に安全使用に際して技術の習熟が必要と考えられる医療機器に関する研修

No	開催年月日	研修の内容・対象機器	研修方法	対象職種	参加者数	備考
1	2017/4/5	除細動器 ハートスタートXL+	講義・実技	臨床工学技士	4	臨床工学室
2	2017/4/18	保育器 V-2100G	講義・実技	看護師・臨床工学技士	5	NICU・GCU
3	2017/4/20	保育器 V-2100G	講義・実技	看護師	4	NICU・GCU
4	2017/4/24	人工呼吸器 概論	講義・実技	看護師・臨床工学技士	8	ICU・CCU
5	2017/4/24	除細動器 ハートスタートXL+	講義・実技	医師	8	麻酔科
6	2017/4/24	除細動器 ハートスタートXL+	講義・実技	看護師	16	中央手術部
7	2017/4/25	除細動器 ハートスタートXL+	講義・実技	医師	5	麻酔科

8	2017/4/25	除細動器 ハートスタートXL+	講義・実技	看護師	8	中央手術部
9	2017/4/26	除細動器 ハートスタートXL+	講義・実技	看護師・臨床工学技士	7	中央手術部
10	2017/4/26	除細動器 ハートスタートXL+	講義・実技	医師	2	麻酔科
11	2017/4/26	高エネルギーX線発生装置 リニアック	講義	診療放射線技師	25	中央放射線部
12	2017/4/26	高エネルギーX線発生装置 トモセラピー	講義	診療放射線技師	25	中央放射線部
13	2017/4/26	密封小線源放射線治療装置 RALS	講義	診療放射線技師	25	中央放射線部
14	2017/4/27	除細動器 ハートスタートXL+	講義・実技	臨床工学技士	1	臨床工学室
15	2017/5/12	新生児・小児用人工呼吸器インファントフローサイバップ	講義・実技	看護師	2	NICU・GCU
16	2017/5/17	人工呼吸器 AVEA	講義・実技	看護師	6	ICU・CCU

② 特に安全使用に際して技術の習熟が必要と考えられる医療機器に関する研修

17	2017/5/19	人工呼吸器 AVEA	講義・実技	看護師	8	ICU・CCU
18	2017/5/29	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	11	12階南病棟
19	2017/5/30	人工心肺装置 S5	講義・実技	臨床工学技士	2	臨床工学室
20	2017/5/30	血液成分分析装置 COM.TEC	講義	看護師・臨床工学技士	7	臨床工学室
21	2017/6/1	個人用多用途透析装置 DBB-100NX	講義	看護師・臨床工学技士	6	人工透析部
22	2017/6/5	新生児・小児用 人工呼吸器 インファントフローサイバップ	講義・実技	看護師	20	9階南病棟
23	2017/6/20	新生児・小児用 人工呼吸器 インファントフローサイバップ	講義・実技	看護師	4	NICU・GCU
24	2017/6/20	大動脈内バルーンポンプ CS300 IABP	講義・実技	看護師	6	ICU・CCU
25	2017/6/21	AIRVO2 加温加湿器搭載型フロージェネレーター NHF AIRBO	講義・実技	看護師	12	ICU・CCU
26	2017/6/29	人工呼吸器 インファントフローサイバップ	講義・実技	看護師	2	臨床工学室
27	2017/6/29	人工呼吸器 ネーザルハイフロー	講義・実技	看護師	2	臨床工学室
28	2017/7/3	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	11	8階南病棟
29	2017/7/8	人工呼吸器	講義・実技	医師	1	小児泌尿器科
30	2017/7/10	人工呼吸器 ネーザルハイフロー	講義・実技	看護師	7	12階南病棟
31	2017/7/12	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	6	14階南病棟
32	2017/7/13	個人用多用途人工透析装置 DBB-100NX	講義・実技	看護師・臨床工学技士	10	人工透析部
33	2017/7/18	個人用多用途人工透析装置 DBB-100NX	講義・実技	臨床工学技士	4	人工透析部
34	2017/7/25	個人用多用途人工透析装置 DBB-100NX	講義・実技	医師・看護師・臨床工学技士	13	人工透析部
35	2017/8/2	人工呼吸器 ハミングX	講義・実技	看護師・臨床工学技士	4	NICU・GCU
36	2017/8/2	人工呼吸器 VN500	講義・実技	看護師・臨床工学技士	4	NICU・GCU

② 特に安全使用に際して技術の習熟が必要と考えられる医療機器に関する研修

37	2017/8/2	除細動器 ハートスタートXL+	講義・実技	看護師	10	救命救急センター
38	2017/8/3	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	11	救命救急センター
39	2017/8/14	除細動器 ハートスタートXL+	講義・実技	看護師	23	中央手術部
40	2017/8/18	除細動器 ハートスタートXL+	講義・実技	看護師	10	中央手術部
41	2017/8/18	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	11	7階北病棟
42	2017/8/21	人工呼吸器 ネーザルハイフロー	講義・実技	看護師	13	17階病棟
43	2017/9/1	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	7	8階南病棟
44	2017/9/4	人工呼吸器 VN500	講義・実技	看護師	3	NICU・GCU
45	2017/9/4	人工呼吸器 ハミングX	講義・実技	看護師	3	NICU・GCU
46	2017/9/4	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	3	8階南病棟
47	2017/9/4	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	9	8階南病棟
48	2017/9/7	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	17	NICU・GCU
49	2017/9/11	人工呼吸器 ネーザルハイフロー	講義・実技	看護師	14	ICU・CCU
50	2017/9/12	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師・臨床工学技士	14	17階北病棟
51	2017/9/12	保育器 V-2100G	講義・実技	看護師	6	8階北病棟
52	2017/9/14	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	3	11階北病棟

53	2017/9/19	人工呼吸器 RTX	講義・実技	医師	5	小児科
54	2017/9/21	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	16	12階北病棟
55	2017/9/25	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	7	10階南病棟
56	2017/9/28	保育器 V-210OG	講義・実技	看護師	5	8階北病棟

② 特に安全使用に際して技術の習熟が必要と考えられる医療機器に関する研修

57	2017/10/2	人工呼吸器 Babylog VN500	講義・実技	看護師	2	NICU・GCU
58	2017/10/3	人工呼吸器 V60	講義・実技	看護師	6	17階病棟、14階北病棟13階南病棟
59	2017/10/5	除細動器 ハートスタートXL	講義・実技	看護師	1	14階北病棟
60	2017/10/5	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	8	14階北病棟
61	2017/10/10	人工呼吸器 V60	講義・実技	看護師	6	16階南病棟、15階南病棟14階北病棟
62	2017/10/12	人工呼吸器 Hamilton G5	講義・実技	臨床工学技士	6	臨床工学室
63	2017/10/12	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	5	15階北病棟、16階北病棟ICUCCU
64	2017/10/17	人工呼吸器 V60	講義・実技	看護師	5	17階病棟、15階北病棟14階北病棟
65	2017/10/19	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	10	16階北病棟、13階南病棟12階北病棟、ICUCCU
66	2017/10/26	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	7	17階北病棟、16階北病棟12階北病棟
67	2017/10/30	高エネルギーX線発生装置 リニアック	講義	診療放射線技師	21	中央放射線部
68	2017/10/30	高エネルギーX線発生装置 トモセラピー	講義	診療放射線技師	21	中央放射線部
69	2017/10/30	高エネルギーX線発生装置 Radixact	講義	診療放射線技師	21	中央放射線部
70	2017/10/30	密封小線源放射線治療装置 RALS	講義	診療放射線技師	21	中央放射線部
71	2017/11/2	多用透過析装置 透析用監視装置 NCU-3	講義・実技	医師・看護師・臨床工学技士	9	人工透析部
72	2017/11/2	可搬型人工呼吸器 パラパックプラス	講義・実技	臨床工学技士・委託職員	11	臨床工学室
73	2017/11/7	人工呼吸器 V60	講義・実技	看護師	6	14階南病棟、15階南病棟16階南病棟
74	2017/11/9	除細動器 TEC-5631	講義・実技	看護師	6	臨床工学室
75	2017/11/9	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	7	13階北、南病棟8階南病棟、ICUCCU
76	2017/11/13	除細動器 TEC-5631	講義・実技	看護師	18	救命救急センター

② 特に安全使用に際して技術の習熟が必要と考えられる医療機器に関する研修

77	2017/11/14	人工呼吸器 ネーザルハイフロー	講義・実技	看護師	1	8階北病棟
78	2017/11/14	人工呼吸器 インファントフローサイパップ	講義・実技	看護師	1	8階北病棟
79	2017/11/14	人工呼吸器 V60	講義・実技	看護師	5	8階南病棟、10階南病棟、14階北病棟
80	2017/11/16	人工呼吸器 ハミングX	講義・実技	看護師	6	NICU・GCU
81	2017/11/16	除細動器 TEC-5631	講義・実技	看護師	14	救命救急センター
82	2017/11/16	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	4	NICU・GCU、9階北病棟14階南病棟
83	2017/11/21	人工呼吸器 V60	講義・実技	看護師	10	15階北、南病棟、9階南病棟16階南病棟、14階北病棟
84	2017/11/21	人工呼吸器 ハミングX	講義・実技	看護師	6	NICU・GCU
85	2017/11/21	人工呼吸器	講義・実技	看護師・臨床工学技士・委託職員	9	NICU・GCU、臨床工学室
86	2017/11/21	人工呼吸器	講義・実技	看護師・臨床工学技士・委託職員	13	NICU・GCU、臨床工学室8階北病棟
87	2017/11/21	人工呼吸器	講義・実技	医師・看護師委託職員	14	NICU・GCU、臨床工学室8階北病棟、産婦人科
88	2017/11/22	人工呼吸器 ネーザルハイフロー	講義・実技	看護師	6	12階南病棟
89	2017/11/28	人工呼吸器 ハミングX	講義・実技	看護師	11	NICU・GCU
90	2017/11/30	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	2	10階南病棟、13階北病棟
91	2017/12/1	人工呼吸器	講義・実技	医師	1	小児泌尿器科
92	2017/12/5	人工呼吸器	講義・実技	医師	1	小児泌尿器科
93	2017/12/6	可搬型人工呼吸器 パラパックプラス	講義・実技	看護師	8	ICUCCU
94	2017/12/7	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	7	ICUCCU、11階南病棟
95	2017/12/8	可搬型人工呼吸器 パラパックプラス	講義・実技	看護師	19	ICUCCU
96	2017/12/8	可搬型人工呼吸器 パラパックプラス	講義・実技	看護師	3	ICUCCU

② 特に安全使用に際して技術の習熟が必要と考えられる医療機器に関する研修

97	2017/12/12	大動脈内バルーンポンプ CS300 IABP	講義・実技	医師・臨床工学技士	9	循環器内科、臨床工学室
98	2017/12/14	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	5	11階南病棟、12階南病棟
99	2017/12/14	人工呼吸器	講義・実技	医師	1	小児泌尿器科
100	2017/12/15	可搬型人工呼吸器 パラパックプラス	講義・実技	看護師	5	ICUCCU
101	2018/1/11	血液浄化装置 ACH-Σ	講義・実技	看護師	5	ICUCCU
102	2018/1/12	血液浄化装置 ACH-Σ	講義・実技	看護師	5	ICUCCU
103	2018/1/18	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	7	13階南病棟
104	2018/1/19	人工呼吸器 ネーザルハイフロー	講義・実技	看護師	7	8階南病棟
105	2018/1/23	個人用多用途透析装置 DBB-100NX	講義・実技	看護師・臨床工学技士	7	人工透析部
106	2018/1/25	個人用多用途透析装置 DBB-100NX	講義・実技	看護師・臨床工学技士	3	人工透析部
107	2018/1/25	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	2	看護部
108	2018/1/30	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	10	12階北病棟
109	2018/1/31	人工呼吸器 小児用ネーザルハイフロー	講義・実技	看護師	12	9階北・南病棟
110	2018/2/1	人工呼吸器 ネーザルハイフロー	講義・実技	看護師	6	NICU
111	2018/2/1	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	4	15階南・13階南病棟
112	2018/2/14	人工呼吸器 ハミングX	講義・実技	看護師	2	NICU・GCU
113	2018/2/14	人工呼吸器 VN500	講義・実技	看護師	2	NICU・GCU
114	2018/2/15	人工呼吸器 インファントフローサイパップ	講義・実技	看護師	11	9階北病棟
115	2018/2/15	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	2	NICU・GCU 10階南病棟
116	2018/2/16	人工心肺装置	講義・実技	看護師	14	中央手術部

② 特に安全使用に際して技術の習熟が必要と考えられる医療機器に関する研修

117	2018/2/21	人工呼吸器 インファントフローサイパップ	講義・実技	看護師	11	9南病棟
118	2018/2/22	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	11	16南病棟
119	2018/2/26	人工呼吸器 インファントフローサイパップ	講義・実技	看護師・助産師・臨床工学技士	3	NICU GCU
120	2018/2/26	人工呼吸器 小児用ネーザルハイフロー	講義・実技	看護師・助産師・臨床工学技士	3	NICU GCU
121	2018/2/26	人工呼吸器 V60	講義・実技	看護師	10	15南病棟
122	2018/2/27	人工呼吸器 V60	講義・実技	看護師	7	15南病棟
123	2018/2/27	人工呼吸器 ネーザルハイフロー(成人用)	講義・実技	看護師	11	14階北病棟
124	2018/3/2	人工呼吸器 V60	講義・実技	看護師	7	15南病棟
125	2018/3/6	開放型保育器 インファウオーマーi LCD	講義・実技	助産師	9	8階北病棟
126	2018/3/7	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	初期研修医	3	総合研修センター
127	2018/3/14	除細動器 XL+	講義・実技	看護師	3	15階北病棟
128	2018/3/15	除細動器 XL+	講義・実技	看護師	10	15階北病棟
129	2018/3/19	人工呼吸器 PB980	講義・実技	看護師・医師	9	ICUCCU・麻酔科
130	2018/3/20	補助循環装置 ECLHA(HASI)	講義・実技	看護師	7	ICUCCU
131	2018/3/20	補助循環装置 PCPS	講義・実技	看護師	8	ICUCCU
132	2018/3/22	人工呼吸器 PB980	講義・実技	臨床工学技士・委託職員	10	MEセンター
133	2018/3/22	人工呼吸器 PB980	講義・実技	看護師	12	ICUCCU
134	2018/3/25	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	10	8階南病棟
135	2018/3/26	人工呼吸器 PB980	講義・実技	看護師	8	ICUCCU

② 特に安全使用に際して技術の習熟が必要と考えられる医療機器に関する研修

136	2018/3/28	人工呼吸器 PB980	講義・実技	看護師	6	ICUCCU
137	2018/3/29	人工呼吸器 トリロジーO2	講義・実技	看護師	16	17階南病棟

(注)1 「特に安全使用に際して技術の習熟が必要と考えられる医療機器」とは、①人工心肺装置及び補助循環装置、②人工呼吸器、③血液浄化装置、④除細動装置(AEDを除く)、⑤閉鎖式保育器、⑥診療用高エネルギー放射線発生装置、⑦診療用放射線照射装置です。

③ ①、②以外に実施している研修

No	開催年月日	研修の内容・対象機器	研修方法	対象職種	参加者数	備考
1	2017/4/3	血管造影用インジェクタ マーク7 Arterion	講義・実技	看護師・診療放射線技師	20	中央手術部
2	2017/4/3	X線システム Allura Clarity FD20 OR	講義・実技	看護師・診療放射線技師	6	中央手術部
3	2017/4/4	X線システム Allura Clarity FD20 OR	講義・実技	診療放射線技師	2	中央放射線部
4	2017/4/5	X線システム Allura Clarity FD20 OR	講義・実技	医師	3	中央手術部
5	2017/4/5	映像システム	講義・実技	医師・看護師	7	中央手術部
6	2017/4/10	超音波診断装置 EpiQ7	講義・実技	医師	3	麻酔科
7	2017/4/13	クリプトン 映像システム	講義・実技	看護師	2	中央手術部
8	2017/4/13	オリンパス 4K、2K 内視鏡システム	講義・実技	看護師	2	中央手術部
9	2017/4/13	輸液ポンプ	講義・実技	看護師	60	全科
10	2017/4/13	シリンジポンプ	講義・実技	看護師	60	全科
11	2017/4/14	輸液ポンプ	講義・実技	看護師	56	全科
12	2017/4/14	シリンジポンプ	講義・実技	看護師	56	全科
13	2017/4/14	キャビン型紫外線治療器 UV7002	講義・実技	看護師	1	皮膚科
14	2017/4/14	光線治療器 デルマレイ200	講義・実技	看護師	1	皮膚科

③ ①、②以外に実施している研修

15	2017/4/14	紫外線治療器 デルマレイ800	講義・実技	看護師	1	皮膚科
16	2017/4/14	紫外線治療器 セラビーム	講義・実技	看護師	1	皮膚科
17	2017/4/18	開放型保育器 V-505HL・ST	講義・実技	看護師・臨床工学技士	5	NICU・GCU
18	2017/4/18	開放型保育器 インファウオーマーi	講義・実技	看護師・臨床工学技士	5	NICU・GCU
19	2017/4/20	開放型保育器 V-505HL・ST	講義・実技	看護師	4	NICU・GCU
20	2017/4/20	開放型保育器 インファウオーマーi	講義・実技	看護師	4	NICU・GCU
21	2017/4/28	温風加温装置 ベア-ハガーペーシエントウォーミングシステム	講義・実技	看護師	11	中央手術部
22	2017/5/9	神経機能検査装置 ニューロマスター	講義・実技	医師	1	整形外科
23	2017/5/9	神経機能検査装置 ニューロマスター	講義	看護師	4	臨床工学室
24	2017/5/17	微生物分類同定分析装置 VITEK MS	講義・実技	臨床検査技師	6	微生物検査室
25	2017/5/22	超音波手術器 CUSA excel	講義	看護師	31	中央手術部
26	2017/5/29	クーデック PCAセット	講義	看護師	12	16階南病棟
27	2017/5/30	心電図モニター	講義・実技	看護師	115	全科
28	2017/6/6	クーデック PCAセット	講義・実技	看護師	19	17階北病棟
29	2017/6/8	クーデック PCAセット	講義・実技	看護師	8	17階北病棟
30	2017/6/8	電気メス(概論)	講義・実技	看護師	15	中央手術部
31	2017/6/9	体成分分析装置 In Body770	講義・実技	管理栄養士	9	栄養管理係
32	2017/6/20・26	加温加湿器搭載型フロージェネレーター AIRVO2	講義・実技	医師・看護師	31	9階病棟
33	2017/6/30	ポータブル呼気NO濃度測定器 Nobreath	講義・実技	医師・臨床検査技師	15	中央臨床検査部
34	2017/7/8	輸液ポンプ	講義・実技	医師	1	小児泌尿器科

③ ①、②以外に実施している研修

35	2017/7/20	セントラルモニタ CNS-6201シリーズ	講義・実技	看護師	6	8階北病棟
36	2017/7/25	血液表子分析装置 HMS PLUS	講義・実技	医師・臨床工学技士	14	中央手術部
37	2017/8/22	フットポンプ SCD700	講義・実技	看護師	9	8階北病棟
38	2017/8/31	経静脈的自己調整鎮痛法 IV-PCA	講義・実技	医師・看護師・臨床工学技士・委託職員	56	関連部署
39	2017/9/4	心エコー検査用診察台	講義・実技	臨床検査技師	9	中央臨床検査部
40	2017/9/4	汎用低床診察台 ハイローベッドM80	講義・実技	臨床検査技師	9	中央臨床検査部
41	2017/10/31	12誘導心電計 ECG-9120	講義・実技	看護師	6	8階北病棟

42	2017/10/24	開放型保育器 インファウオーマーi	講義・実技	看護師	7	8階北病棟
43	2017/11/6	汎用超音波診断装置 サイトライト5	講義・実技	医師	6	関連部署
44	2017/11/6	汎用超音波診断装置 サイトライト5	講義・実技	医師	3	関連部署
45	2017/12/1	輸液ポンプ	講義・実技	医師	1	小児泌尿器科
46	2017/12/5	輸液ポンプ	講義・実技	医師	1	小児泌尿器科
47	2017/12/12	体外循環装置用遠心ポンプ駆動装置 キャピオックス 遠心ポンプコントローラー SP-200	講義・実技	医師・臨床工学技士	14	循環器内科・臨床工学室
48	2017/12/12	腹膜灌流回路用加熱溶融接合装置 テルモ無菌接合装置TSCD SC-102	講義・実技	看護師	6	14階北病棟
49	2017/12/12	自動腹膜灌流用装置 マイホームびこ	講義・実技	看護師	6	14階北病棟
50	2017/12/14	輸液ポンプ	講義・実技	医師	1	小児泌尿器科
51	2017/12/22	経腸栄養用ポンプ	講義・実技	看護師・臨床工学技士・委託職員	31	関連部署
52	2017/12/27	体温管理システム アークティックサン2000	講義・実技	看護師・臨床工学技士	15	NICU・GCU
53	2018/1/15	ドリップアイ NE-1	講義・実技	看護師	12	9階病棟
54	2018/1/18	ドリップアイ NE-1	講義・実技	看護師	9	9階病棟

③ ①、②以外に実施している研修

55	2018/1/24	呼気ガス分析装置 FIT-2100	講義・実技	管理栄養士	3	栄養管理係
56	2018/2/8	膀胱用超音波画像診断装置	講義・実技	看護師	6	13階北病棟
57	2018/2/19	開放型保育器 インファウオーマーi LCD	講義・実技	看護師	17	中央手術部
58	2018/2/14	LCIG治療システム	講義・実技	看護師	11	13階北病棟
59	2018/2/28	LCIG治療システム	講義・実技	看護師	8	13階北病棟
60	2018/3/2	PCAポンプ IVPCA	講義	看護師・臨床工学技士・薬剤部	60	看護部・臨床工学部・薬剤部
61	2018/3/7	シリンジポンプ	講義・実技	初期研修医	3	総合研修センター
62	2018/3/7	輸液ポンプ	講義・実技	初期研修医	3	総合研修センター
63	2018/3/7	低圧持続吸引器	講義・実技	初期研修医	3	総合研修センター